工　事　設　計　書

所 属 部 課 名		建設部　下水道維持課							
部長	審議監	審議監	課長	補佐	補佐	主幹		設計者	審査
工 事 名 称		汚水管きょ更生工事(R8-3)							
工 事 場 所		松戸市松戸他							
事 業 年 度		令和　　8　　年度							
工 事 価 格		円							
工 事 費 計		円							

松　戸　市

設計概要	管きょ更生工（φ250㎜）　・・・　203m 管きょ更生工（φ300㎜）　・・・　 36m 附帯工　・・・　１式

下水道工事(4)
共：一般交通影響有り(2)-2
現：一般交通影響有り(2)-2

単価適用日　2026年9月1日

本　工　事　内　訳　書

費目	工種	種別	細別	単位	数量	単価	金額	摘要
本工事費								
	管路施設工							
		施工前管きょ内調査						
			既設管内洗浄・調査・処理工	式	1			第 1 号内訳書参照
		管きょ内面被覆工(反転・形成工法)						
			更生材料	式	1			第 2 号内訳書参照
			反転・形成	式	1			第 3 号内訳書参照
			仕上	式	1			第 4 号内訳書参照
			仮設備	式	1			第 5 号内訳書参照
		換気工						
			換気設備	式	1			第 6 号内訳書参照

本　工　事　内　訳　書

費目	工種	種別	細別	単位	数量	単価	金額	摘要
		管きょ更生水替工						
			反転・形成用水替	式	1			第 7 号内訳書参照
		取付管布設替・閉塞工						
			取付管布設替・閉塞工	式	1			第 8 号内訳書参照
			取付管土工	式	1			第 9 号内訳書参照
			附帯工	式	1			第 10 号内訳書参照
		仮設工						
			仮設工	式	1			第 11 号内訳書参照
	直接工事費計							
		共通仮設費		式	1			
		共通仮設費計						

本　工　事　内　訳　書

費目	工種	種別	細別	単位	数量	単価	金額	摘要
	純工事費							
		現場管理費		式	1			
	工事原価							
		一般管理費等		式	1			
	工事価格							
		消費税及び地方消費税相当額		式	1			
工事費計								

第 1 号 内訳書　　既設管内洗浄・調査・処理工　　1式

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
管きょ内洗浄工	高圧洗浄車147kW(200PS) 4t	m	239			第 1 号単価表参照
本管ＴＶカメラ調査工(内径150～800㎜未満)	側視回数0.2回／m	m	239			第 2 号単価表参照
異物除去工	木根等	箇所	24			第 3 号単価表参照
カッター工		箇所	1			第 4 号単価表参照
計						

第 2 号 内訳書　　更生材料　　1式

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
更生管材	φ250	m	203			
更生管材	φ300	m	36			
計						

第 3 号 内訳書　　反転・形成　　1式

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
反転・引込工	φ250	m	198			第 5 号単価表参照
反転・引込工	φ300	m	35			第 6 号単価表参照
硬化・形成工	φ250	m	198			第 7 号単価表参照
硬化・形成工	φ300	m	35			第 8 号単価表参照
計						

第 4 号内訳書　　仕上　　1式

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
本管口切断工	φ250	箇所	10			第 9 号単価表参照
本管口切断工	φ300	箇所	2			第 10 号単価表参照
本管口仕上工	φ250	箇所	10			第 11 号単価表参照
本管口仕上工	φ300	箇所	2			第 12 号単価表参照
取付管口せん孔仕上工(１日施工)		箇所	1			第 13 号単価表参照
取付管口せん孔仕上工(分割施工)	仮せん孔	箇所	20			第 14 号単価表参照
取付管口せん孔仕上工(分割施工)	本せん孔	箇所	20			第 15 号単価表参照
計						

第 5 号内訳書　　仮設備　　1式

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
仮設備設置・撤去工	設置、φ250	回	5			第 16 号単価表参照
仮設備設置・撤去工	設置、φ300	回	1			第 17 号単価表参照
仮設備設置・撤去工	撤去、φ250	回	5			第 18 号単価表参照
仮設備設置・撤去工	撤去、φ300	回	1			第 19 号単価表参照
計						

第 6 号 内訳書　　換気設備　　1式

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
換気設備工		日				第 20 号単価表参照
計						

第 7 号 内訳書　　反転・形成用水替　　1式

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
潜水ポンプ運転工	φ250	日				第 21 号単価表参照
潜水ポンプ運転工	φ300	日				第 22 号単価表参照
止水プラグ損料	φ250	日				
止水プラグ損料	φ300	日				
計						

第 8 号 内訳書　　取付管布設替・閉塞工　　1式

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
取付管布設および支管取付工	3m未満	箇所	2			第 23 号単価表参照
既設管処分工	取付管撤去2箇所	式	1			第 24 号単価表参照
陶管・ﾋｭｰﾑ管用閉塞キャップ		個	1			
計						

第 9 号 内訳書　　取付管土工　　1式

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
床掘り	人力	m3	5			第 25 号単価表参照
土砂等運搬	2ｔDt運搬	m3	4			第 26 号単価表参照
機械投入埋戻工(小型ﾊﾞｯｸﾎｳ)		m3	4			第 27 号単価表参照
残土処分工		m3	1			第 28 号単価表参照
計						

第 10 号 内訳書　　附帯工　　1式

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
舗装版切断		m	14			第 29 号単価表参照
舗装切断排水処分工	容器入り 処分費込み	m3	0.02			第 30 号単価表参照
舗装版破砕積込（小規模土工）		m2	18			第 31 号単価表参照
As廃材運搬処分工		m3	1			第 32 号単価表参照
路盤掘削	小規模	m3	1			第 33 号単価表参照
路盤廃材運搬処分工	2ｔDT運搬 処分費込み	m3	1			第 34 号単価表参照
路盤工	市道一般	m2	4			第 35 号単価表参照
路盤工	歩道（インターロッキング）	m2	2			第 36 号単価表参照
舗装工	市道一般 仮復旧	m2	4			第 37 号単価表参照
舗装工	歩道（インターロッキング） 仮復旧	m2	2			第 38 号単価表参照
不陸整正	市道一般 RM-30 t=30	m2	7			第 39 号単価表参照

第 10 号 内訳書　　附帯工　　1式　　2 頁

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
不陸整正	歩道（インターロッキング） RC-40 t=40	m2	5			第 40 号単価表参照
舗装工	市道一般 本復旧	m2	11			第 41 号単価表参照
インターロッキングブロック撤去・再設置		m2	7			第 42 号単価表参照
路面表示	常用	式	1			
計						

第 11 号 内訳書　　仮設工　　1式

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
交通誘導警備員Ｂ		人日	45			第 43 号単価表参照
計						

第 1 号　単価表　　管きょ内洗浄工　　高圧洗浄車147kW(200PS) 4t　　1　m　当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
清掃技師		人				
清掃作業員		人				
高圧洗浄車運転工		日				第 44 号単価表参照
給水車運転工		日				第 45 号単価表参照
諸雑費		式	1			
	1日当り					
	1m当り					

D7954
[洗浄水(m3)]=計上しない

第 2 号　単価表　　本管ＴＶカメラ調査工(内径150～800㎜未満)　側視回数0.2回／m　　1　m　当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
管路調査技師		人				
管路調査助手		人				
管路調査作業員		人				
ＴＶカメラ搭載車運転工（本管用）		日				第 46 号単価表参照
諸雑費		式	1			
	1日当り					
	1m当り					

D7950
［側視回数］=0.2回／m

第 3 号　単価表　　異物除去工　　木根等　　18　箇所　当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
清掃技師		人				
管路調査技師		人				
管路調査助手		人				
特殊作業員		人				
普通作業員		人				
ＴＶカメラ車運転工	異物除去工	日				第 47 号単価表参照
超高圧洗浄車運転工	異物除去工	日				第 48 号単価表参照
給水車運転工	異物除去工	日				第 49 号単価表参照
計	18 箇所　当り					
	1 箇所　当り					

第 4 号　単価表　　カッター工　　9 箇所　当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
清掃技師		人				
管路調査技師		人				
管路調査助手		人				
特殊作業員		人				
普通作業員		人				
ＴＶカメラ車運転工	カッター工	日				第 50 号単価表参照
せん孔機車運転工	カッター工	日				第 51 号単価表参照
高圧洗浄車運転工	カッター工	日				第 52 号単価表参照
計	9 箇所　当り					
	1 箇所　当り					

第 5 号　単価表　　反転・引込工　　φ250　　292.58　m　当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人				
特殊作業員		人				
普通作業員		人				
トラック	４～４．５ｔ級２．９ｔ吊	日				第 53 号単価表参照
反転・引込車運転	4t 154kW	日				第 54 号単価表参照
発動発電機運転	ﾃﾞｨｰｾﾞﾙ 超低騒音 排対3次 45kVA	日				第 55 号単価表参照
諸雑費		式	1			
計	292.58ｍ　当り					
	1ｍ　当り					

SDGD32220
J01　既設管径(mm) = 3　　管径２５０mm　　J02　更生延長(実数入力)[m] = 39.62
J03　作業種別 = 1　　昼間作業

第 6 号　単価表　　反転・引込工　　φ300　　261.42　m　当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人				
特殊作業員		人				
普通作業員		人				
トラック	４～４．５ｔ級２．９ｔ吊	日				第 53 号単価表参照
反転・引込車運転	4t 154kW	日				第 54 号単価表参照
発動発電機運転	ﾃﾞｨｰｾﾞﾙ 超低騒音 排対3次 45kVA	日				第 55 号単価表参照
諸雑費		式	1			
計	261.42ｍ　当り					
	1ｍ　当り					

SDGD32220
J01　既設管径(mm) = 4　　管径３００mm　　J02　更生延長(実数入力)[m] = 35.4
J03　作業種別 = 1　　昼間作業

第 7 号　単価表　　硬化・形成工　　φ250　　105.65　m　当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人				
特殊作業員		人				
普通作業員		人				
トラック	４～４．５ｔ級２．９ｔ吊	日				第 53 号単価表参照
硬化・形成車運転	4t 154kW	日				第 56 号単価表参照
空気圧縮機(3次)	可搬式ｴﾝｼﾞﾝ駆動ｽｸﾘｭ 5.0m3/min	日				第 57 号単価表参照
発動発電機運転	ﾃﾞｨｰｾﾞﾙ 超低騒音 排対3次 45kVA	日				第 55 号単価表参照
諸雑費		式	1			
計	105.65ｍ　当り					
	1ｍ　当り					

SDGD32230
J01　既設管径(mm) = 3　　管径２５０mm　　J02　更生延長(実数入力)[m] = 39.62
J03　作業種別 = 1　　昼間作業

第 8 号　単価表　　硬化・形成工　　φ300　　89.43　m　当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人				
特殊作業員		人				
普通作業員		人				
トラック	４～４．５ｔ級２．９ｔ吊	日				第 53 号単価表参照
硬化・形成車運転	4t 154kW	日				第 56 号単価表参照
空気圧縮機(3次)	可搬式ｴﾝｼﾞﾝ駆動ｽｸﾘｭ 5.0m3/min	日				第 57 号単価表参照
発動発電機運転	ﾃﾞｨｰｾﾞﾙ 超低騒音 排対3次 45kVA	日				第 55 号単価表参照
諸雑費		式	1			
計	89.43ｍ　当り					
	1ｍ　当り					

SDGD32230
J01　既設管径(mm) = 4　　管径３００mm　　J02　更生延長(実数入力)[m] = 35.4
J03　作業種別 = 1　　昼間作業

第 9 号　単価表　　本管口切断工　　φ250　　24　箇所　当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人				
特殊作業員		人				
普通作業員		人				
トラック	４～４．５ｔ級２．９ｔ吊	日				第 58 号単価表参照
諸雑費		式	1			
計	24 箇所　当り					
	1 箇所　当り					

SDGD32270
J01　既設管径(mm) = 3　　管径２５０mm　　J02　作業種別 = 1　　昼間作業

第 10 号　単価表　　本管口切断工　　φ300　　24　箇所　当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人				
特殊作業員		人				
普通作業員		人				
トラック	４～４．５ｔ級２．９ｔ吊	日				第 58 号単価表参照
諸雑費		式	1			
計	24 箇所　当り					
	1 箇所　当り					

SDGD32270
J01　既設管径(mm) = 4　　管径３００mm　　J02　作業種別 = 1　　昼間作業

第 11 号　単価表　　本管口仕上工　　φ250　　1　箇所　当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
本管口仕上工		箇所	1			第 59 号単価表参照
管口仕上材		kg	1.475			5.9*0.25
計	1箇所　当り					

SDGD32280
　J01　既設管径(mm) = 3　　管径２５０mm

第 12 号　単価表　　本管口仕上工　　φ300　　1　箇所　当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
本管口仕上工		箇所	1			第 60 号単価表参照
管口仕上材		kg	1.77			5.9*0.3
計	1箇所　当り					

SDGD32280
　J01　既設管径(mm) = 4　　管径３００mm

第 13 号　単価表　　取付管口せん孔仕上工(１日施工)　　9　箇所　当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人				
特殊作業員		人				
普通作業員		人				
本管用ＴＶカメラ車運転	2t 95.5kW	日				第 61 号単価表参照
高圧洗浄車運転	4t 154kW	日				第 62 号単価表参照
せん孔機車運転	2t 84kW	日				第 63 号単価表参照
トラック運転	2t積	日				第 64 号単価表参照
諸雑費		式	1			
計	9箇所　当り					
	1箇所　当り					

SDGD32300
J01　水計上の有無 = 2　　計上しない　　J03　作業種別 = 1　　昼間作業

第 14 号　単価表　　取付管口せん孔仕上工(分割施工)　　仮せん孔　　24　箇所　当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人				
特殊作業員		人				
普通作業員		人				
本管用ＴＶカメラ車運転	2t 95.5kW	日				第 61 号単価表参照
高圧洗浄車運転	4t 154kW	日				第 62 号単価表参照
せん孔機車運転	2t 84kW	日				第 63 号単価表参照
トラック運転	2t積	日				第 64 号単価表参照
諸雑費		式	1			
計	24 箇所　当り					
	1 箇所　当り					

SDGD32310
J01　せん孔区分 = 1　　仮せん孔　　J02　水計上の有無 = 2　　計上しない
J04　作業種別 = 1　　昼間作業

第 15 号　単価表　　取付管口せん孔仕上工(分割施工)　　本せん孔　　13　箇所　当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人				
特殊作業員		人				
普通作業員		人				
本管用ＴＶカメラ車運転	2t 95.5kW	日				第 61 号単価表参照
高圧洗浄車運転	4t 154kW	日				第 62 号単価表参照
せん孔機車運転	2t 84kW	日				第 63 号単価表参照
トラック運転	2t積	日				第 64 号単価表参照
諸雑費		式	1			
計	13 箇所　当り					
	1 箇所　当り					

SDGD32310
J01　せん孔区分 = 2　　本せん孔　　J02　水計上の有無 = 2　　計上しない
J04　作業種別 = 1　　昼間作業

第 16 号　単価表　　仮設備設置・撤去工　　設置、φ250　　9　回　当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人				
特殊作業員		人				
普通作業員		人				
トラック	４～４．５ｔ級２．９ｔ吊	日				第 53 号単価表参照
発動発電機運転	ﾃﾞｨｰｾﾞﾙ 超低騒音 排対3次 45kVA	日				第 55 号単価表参照
計	9回　当り					
	1回　当り					

SDGD32360
J01　既設管径(mm) = 3　　管径２５０mm　　J02　工種 = 1　　仮設備設置

第 17 号　単価表　　仮設備設置・撤去工　　設置、φ300　　9　回　当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人				
特殊作業員		人				
普通作業員		人				
トラック	４～４．５ｔ級２．９ｔ吊	日				第 53 号単価表参照
発動発電機運転	ﾃﾞｨｰｾﾞﾙ 超低騒音 排対3次 45kVA	日				第 55 号単価表参照
計	9回　当り					
	1回　当り					

SDGD32360
J01　既設管径(mm) = 4　　管径３００mm　　J02　工種 = 1　　仮設備設置

第 18 号　単価表　　仮設備設置・撤去工　　撤去、φ250　　12　回　当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人				
特殊作業員		人				
普通作業員		人				
トラック	４～４．５ｔ級２．９ｔ吊	日				第 53 号単価表参照
発動発電機運転	ﾃﾞｨｰｾﾞﾙ 超低騒音 排対3次 45kVA	日				第 55 号単価表参照
計	12回　当り					
	1回　当り					

SDGD32360
J01　既設管径(mm) = 3　　管径２５０mm　　J02　工種 = 2　　仮設備撤去

第 19 号　単価表　　仮設備設置・撤去工　　撤去、φ300　　12　回　当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人				
特殊作業員		人				
普通作業員		人				
トラック	４～４．５ｔ級２．９ｔ吊	日				第 53 号単価表参照
発動発電機運転	ﾃﾞｨｰｾﾞﾙ 超低騒音 排対3次 45kVA	日				第 55 号単価表参照
計	12回　当り					
	1回　当り					

SDGD32360
J01　既設管径(mm) = 4　　管径３００mm　　J02　工種 = 2　　仮設備撤去

第 20 号　単価表　　換気設備工　　1　日　当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
軸流ファン［軸流式・定風量型］	５０／６０ｍ３／ｍｉｎ	日				
発動発電機運転	ﾃﾞｨｰｾﾞﾙｴﾝｼﾞﾝ駆動 排対 25kVA	日				第 65 号単価表参照
諸雑費		式	1			
計	1日　当り					

SDGD32370

第 21 号　単価表　　潜水ポンプ運転工　　φ250　　1　日　当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
特殊作業員		人				
工事用水中モータポンプ［普通型］	潜水ポンプ　口径φ５０mm　全揚程１０m	日				
発動発電機運転	ﾃﾞｨｰｾﾞﾙｴﾝｼﾞﾝ駆動 5kVA	日				第 66 号単価表参照
計	1日　当り					

SDGD32390
J01　既設管径(mm) = 3　　管径２５０mm　　J02　潜水ポンプ台数(実数入力)[台] = 2

第 22 号　単価表　　潜水ポンプ運転工　　φ300　　1　日　当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
特殊作業員		人				
工事用水中モータポンプ［普通型］	潜水ポンプ　口径φ５０ｍｍ　全揚程１０ｍ	日				
発動発電機運転	ﾃﾞｨｰｾﾞﾙｴﾝｼﾞﾝ駆動 5kVA	日				第 66 号単価表参照
計	1日　当り					

SDGD32390
J01　既設管径(mm) = 4　　管径３００mm　　J02　潜水ポンプ台数(実数入力)[台] = 2

第 23 号　単価表　　取付管布設および支管取付工　　3m未満　　1　箇所　当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
取付管布設及び支管取付工(材工共)	管径150 R7月単位現場閉所	箇所	1			
諸雑費（まるめ）		式	1			
計	1箇所　当り					

SDGD60100

J01　規格･仕様 = 3　　管径 150mm
J02　施工規模 = 2　　5箇所未満
J03　時間的制約を受ける場合の補正 = 2 無
J04　夜間作業補正 = 2　　無
J05　取付管長3m未満の場合の補正 = 1 有
J06　取付管長5m以上12m未満の補正 = 2 無
J07　本管材質ｺﾝｸﾘｰﾄ製･陶製の補正 = 1 有

第 24 号　単価表　　既設管処分工　　取付管撤去2箇所　　1　式　当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
陶管撤去工	150mm	m	4.2			第 67 号単価表参照
現場発生品及び支給品運搬	陶磁器廃材	t	0.1			第 68 号単価表参照
廃材処分費	がれき類その他 コンクリートくず及び陶磁器くず	m3	0.1			
計	1式　当り					

第 25 号　単価表　　床掘り　　人力　　1　m3　当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
労務構成比		%	R			
普通作業員		%	R1			
	1ｍ3　当り					

SCB210030
J01　土質 = 1　　土砂　　J02　施工方法 = 6　　現場制約あり

第 26 号　単価表　　土砂等運搬　　２ｔDt運搬　　1　m3　当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
ダンプトラック［オンロード・ディーゼル］	２ｔ積級 ﾀｲﾔ損耗費及び補修費(良好)含	%	K1			
労務構成比		%	R			
運転手（一般）		%	R1			
材料構成比		%	Z			
軽油		%	Z1			
	1ｍ3　当り					

SCB210110
J01　土砂等発生現場 = 3　現場制約あり
J02　積込機種･規格 = 7　人力
J03　土質 = 1　土砂（岩塊･玉石混り土含む）
J04　DID区間の有無 = 2　有り
J18　運搬距離（km）（DID区間有） = 9 6.0km以下

第 27 号　単価表　　機械投入埋戻工(小型ﾊﾞｯｸﾎｳ)　　1　m3　当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
機械投入埋戻工(小型ﾊﾞｯｸﾎｳ)		m3	1			第 69 号単価表参照
建設発生土土質改良土(CBR６%以上)	石灰系改良（葛南）	m3	1.2			
計	1m3　当り					

第 28 号　単価表　　残土処分工　　1　m3　当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
発生土運搬工	現場～仮置場	m3	1			第 70 号単価表参照
積込（ルーズ）		m3	1			第 71 号単価表参照
土砂等運搬		m3	1			第 72 号単価表参照
建設発生土処理費		m3	1			
計	1 m3　当り					

第 29 号　単価表　　舗装版切断　　1　m　当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
コンクリートカッタ[ﾊﾞｷｭｰﾑ式(超低騒音型)]	湿式 切削深20cm級 ﾌﾞﾚｰﾄﾞ径φ56cm	%	K1			
労務構成比		%	R			
特殊作業員		%	R1			
土木一般世話役		%	R2			
普通作業員		%	R3			
材料構成比		%	Z			
コンクリートカッタ　(ブレード)	径１８インチ	%	Z1			
ガソリン	レギュラー	%	Z2			
	1m　当り					

第 29 号　単価表　　舗装版切断　　1　m　当り　　2 頁

SCB430510

J01　舗装版種別 = 1	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版	J02　ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版厚 = 1	15cm以下
J05　費用の内訳 = 1	全ての費用		

第 30 号　単価表　　舗装切断排水処分工　　容器入り 処分費込み　　1　m3　当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
汚泥及び廃アルカリ処分費		kg	1,130			
舗装切断排水運搬工		m3	1			第 73 号単価表参照
計	1m3　当り					

第 31 号　単価表　　舗装版破砕積込（小規模土工）　　1　m2　当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
小型バックホウ（クローラ）［標準］	排出ガス対策型（第2次基準）　山積0.13m3	%	K1			
労務構成比		%	R			
運転手（特殊）		%	R1			
材料構成比		%	Z			
軽油		%	Z1			
	1m2　当り					

SCB210720
　J01　費用の内訳 = 1　　全ての費用

第 32 号　単価表　　As廃材運搬処分工　　1　m3　当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
殻運搬		m3	1			第 74 号単価表参照
ＡＳ廃材処分費	東葛飾	t	2.35			
計	1m3　当り					

第 33 号　単価表　　路盤掘削　　小規模　　1　m3　当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
バックホウ（クローラ）［標準］	排ガス型（第２次）　山積０．２８ｍ３	%	K1			
労務構成比		%	R			
運転手（特殊）		%	R1			
材料構成比		%	Z			
軽油		%	Z1			
	１m3　当り					

SCB210100
J01　土質 = 1　　土砂
J02　施工方法 = 5　　上記以外（小規模）
J05　施工数量 = 7　　小規模（標準）

第 34 号　単価表　　路盤廃材運搬処分工　　2ｔDT運搬 処分費込み　　1　m3　当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
路盤廃材処分費	東葛飾	t	2.04			
土砂等運搬	路盤	m3	1			第 75 号単価表参照
計	1m3　当り					

第 35 号　単価表　　路盤工　　市道一般　　1　m2　当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
上層路盤（車道・路肩部）	RM-30 t=150	m2	1			第 76 号単価表参照
下層路盤（車道・路肩部）	RC-40 t=200	m2	1			第 77 号単価表参照
計	1 m2　当り					

第 36 号　単価表　　路盤工　　歩道（インターロッキング）　　1　m2　当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
路盤工	RC-40 t=150	m2	1			第 78 号単価表参照
フィルター層	砂 t=50	m2	1			第 79 号単価表参照
計	1m2　当り					

第 37 号　単価表　　舗装工　　市道一般 仮復旧　　1　m2　当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
振動ローラ（舗装用）［ハンドガイド式］	運転質量０．５～０．６ｔ	%	K1			
振動コンパクタ［前進型］	機械質量４０～６０ｋｇ	%	K2			
労務構成比		%	R			
特殊作業員		%	R1			
普通作業員		%	R2			
土木一般世話役		%	R3			
材料構成比		%	Z			
再生アスファルト混合物	再生密粒度アスコン（１３）	%	Z1			
ガソリン	レギュラー	%	Z2			

第 37 号　単価表　　舗装工　　市道一般　仮復旧　　1　m2　当り　　2 頁

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
軽油		%	Z3			
	1 m2　当り					

SCB410260

J01　平均幅員 = 1	1.4m未満（仕上厚50mm以下）	J02　1層当平均仕上厚 50mm以下[mm] = 50	
J05　材料 = 11	再生密粒度アスコン（１３）	J06　瀝青材料種類 = 5	無し
J07　費用の内訳 = 1	全ての費用		

第 38 号　単価表　　舗装工　　歩道（インターロッキング）仮復旧　　1　m2　当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
振動ローラ（舗装用）［ハンドガイド式］	運転質量０．５～０．６ｔ	%	K1			
振動コンパクタ［前進型］	機械質量４０～６０ｋｇ	%	K2			
労務構成比		%	R			
特殊作業員		%	R1			
普通作業員		%	R2			
土木一般世話役		%	R3			
材料構成比		%	Z			
再生アスファルト混合物	再生密粒度アスコン（１３）	%	Z1			
ガソリン	レギュラー	%	Z2			

第 38 号　単価表　　舗装工　　歩道（インターロッキング）仮復旧　　1　m2　当り　　2 頁

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
軽油		%	Z3			
	1 m2　当り					

SCB410261

J01　平均幅員 = 1　　1.4m未満（仕上厚50mm以下）
J02　1層当平均仕上厚 50mm以下[mm] = 40
J05　材料 = 11　　再生密粒度アスコン（１３）
J06　瀝青材料種類 = 5　　無し
J07　費用の内訳 = 1　　全ての費用

第 39 号　単価表　　不陸整正

市道一般
RM-30 t=30

1　m2　当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
モータグレーダ［土工用］	排出ｶﾞｽ対策(2014年規制)ﾌﾞﾚｰﾄﾞ幅3.1m	%	K1			
ロードローラ［マカダム］	運転質量１０～１２ｔ	%	K2			
タイヤローラ［普通型］	運転質量１３～１４ｔ	%	K3			
労務構成比		%	R			
運転手（特殊）		%	R1			
普通作業員		%	R2			
特殊作業員		%	R3			
土木一般世話役		%	R4			
材料構成比		%	Z			

第 39 号　単価表　　不陸整正

市道一般
RM-30 t=30

1　m2　当り　　2 頁

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
再生粒度調整砕石	RM30～0	%	Z1			
軽油		%	Z2			
	1 m2　当り					

SCB410010
J01　補足材料の有無 = 2　　有り
J02　補足材料平均厚さ = 6　　28mm以上34mm未満
J03　補足材料 = 8　　再生粒度調整砕石 RM-30
J04　費用の内訳 = 1　　全ての費用

第 40 号　単価表　　不陸整正

歩道（インターロッキング）
RC-40 t=40

1　m2　当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
モータグレーダ［土工用］	排出ｶﾞｽ対策(2014年規制)ﾌﾞﾚｰﾄﾞ幅3.1m	%	K1			
ロードローラ［マカダム］	運転質量１０～１２ｔ	%	K2			
タイヤローラ［普通型］	運転質量１３～１４ｔ	%	K3			
労務構成比		%	R			
運転手（特殊）		%	R1			
普通作業員		%	R2			
特殊作業員		%	R3			
土木一般世話役		%	R4			
材料構成比		%	Z			

第 40 号　単価表　　不陸整正

歩道（インターロッキング）
RC-40 t=40

1　m2　当り　　2 頁

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
再生クラッシャーラン	ＲＣ－４０	%	Z1			
軽油		%	Z2			
	1 m2　当り					

SCB410010
J01　補足材料の有無 = 2　有り
J02　補足材料平均厚さ = 8　40mm以上46mm未満
J03　補足材料 = 6　再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40
J04　費用の内訳 = 1　全ての費用

第 41 号　単価表　　舗装工

市道一般
本復旧

1　m2　当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
振動ローラ（舗装用）［ハンドガイド式］	運転質量０．５～０．６ｔ	%	K1			
振動コンパクタ［前進型］	機械質量４０～６０ｋｇ	%	K2			
労務構成比		%	R			
特殊作業員		%	R1			
普通作業員		%	R2			
土木一般世話役		%	R3			
材料構成比		%	Z			
再生アスファルト混合物	再生密粒度アスコン（２０）	%	Z1			
アスファルト乳剤	ＰＫ－３　プライムコート用	%	Z2			

第 41 号　単価表　　舗装工　　市道一般　本復旧　　1　m2　当り　　2 頁

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
ガソリン	レギュラー	%	Z3			
軽油		%	Z4			
	1 m2　当り					

SCB410260
J01　平均幅員 = 1　　1.4m未満（仕上厚50mm以下）
J02　1層当平均仕上厚 50mm以下[mm] = 50
J05　材料 = 10　　再生密粒度アスコン（２０）
J06　瀝青材料種類 = 2　　ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄ PK-3
J07　費用の内訳 = 1　　全ての費用

第 42 号　単価表　　インターロッキングブロック撤去・再設置　　1　m2　当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
インターロッキングブロック撤去・再設置		m2	1			第 80 号単価表参照
透水性シート		m2	1			
計	1m2　当り					

第 43 号　単価表　　交通誘導警備員Ｂ　　1　人日　当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
交通誘導警備員Ｂ		人				
諸雑費（まるめ）		式	1			
計	1人日　当り					

SWB010212

（施設維持 P114）

第 44 号　単価表　　高圧洗浄車運転工　　1　日　当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
軽油		L	39			6.5*6
運転手（特殊）		人				
高圧洗浄車		h				
諸雑費		式	1			
計	1日　当り					

D7965

（施設維持 P114）

第 45 号　単価表　　給水車運転工　　1　日　当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
軽油		L	34.8			5.8*6
運転手（一般）		人				
給水車		h				
諸雑費		式	1			
計	1日　当り					

D7966

（施設維持 P100,103）

第 46 号　単価表　　ＴＶカメラ搭載車運転工（本管用）　　1　日　当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
ガソリン	レギュラー	L	36.6			6.1*6
運転手（一般）		人				
本管用ＴＶカメラ搭載車		h				
諸雑費		式	1			
計	1日　当り					

D7963
［管種別]=本管

第 47 号　単価表　　ＴＶカメラ車運転工　　異物除去工　　1　日　当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
運転手（一般）		人				
ガソリン	レギュラー	L	11			
本管用ＴＶカメラ搭載車		日				
諸雑費		式	1			
計	1日　当り					

第 48 号　単価表　　超高圧洗浄車運転工　　異物除去工　　1　日　当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
運転手（一般）		人				
軽油		L	27			
超高圧洗浄車		日				
諸雑費		式	1			
計	1日　当り					

第 49 号　単価表　　給水車運転工　　異物除去工　　1　日　当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
運転手（一般）		人				
軽油		L	19			
給水車		日				
諸雑費		式	1			
計	1日　当り					

第 50 号　単価表　　ＴＶカメラ車運転工　　カッター工　　1　日　当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
運転手（一般）		人				
ガソリン	レギュラー	L	11			
本管用ＴＶカメラ搭載車		日				
諸雑費		式	1			
計	1日　当り					

第 51 号　単価表　　せん孔機車運転工　　カッター工　　1　日　当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
運転手（一般）		人				
軽油		L	25			
せん孔機車		日				
諸雑費		式	1			
計	1日　当り					

第 52 号　単価表　　高圧洗浄車運転工　　カッター工　　1　日　当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
運転手（一般）		人				
軽油		L	27			
高圧洗浄車		日				
諸雑費		式	1			
計	1日　当り					

第 53 号　単価表　　トラック　　4～4．5ｔ級2．9ｔ吊　　1　日　当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
運転手（特殊）		人				
軽油		L	31			
トラック［クレーン装置付］	ﾍﾞｰｽﾄﾗｯｸ4~4.5t積 吊能力2.9t	供用日	1.2			
諸雑費（まるめ）		式	1			
計	1日　当り					

SDGD32100

第 54 号　単価表　　反転・引込車運転　　4t 154kW　　1　日　当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
運転手（一般）		人				
軽油		L	56			
反転・引込車	4t 154kW	供用日	1.3			
諸雑費（まるめ）		式	1			
計	1日　当り					

SDGD32240

第 55 号　単価表　　発動発電機運転　　ﾃﾞｨｰｾﾞﾙ 超低騒音 排対3次 45kVA　　1　日　当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
軽油		L	34			
発動発電機［ディーゼルエンジン駆動］	４５ｋＶＡ	日				
諸雑費（まるめ）		式	1			
計	1日　当り					

SDGD32265

第 56 号　単価表　　硬化・形成車運転　　4t 154kW　　1　日　当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
運転手（一般）		人				
軽油		L	56			
硬化・形成車	4t 154kW	供用日	1.3			
諸雑費（まるめ）		式	1			
計	1日　当り					

SDGD32250

第 57 号　単価表　　空気圧縮機(3次)　　可搬式ｴﾝｼﾞﾝ駆動ｽｸﾘｭ 5.0m3/min　　1　日　当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
軽油		L	35			
空気圧縮機[可搬式･ｴﾝｼﾞﾝ駆動･ｽｸﾘｭ型]	吐出量５．０ｍ３／ｍｉｎ	日				
諸雑費（まるめ）		式	1			
計	1日　当り					

SDGD32260

第 58 号　単価表　　トラック　　4～4．5ｔ級2．9ｔ吊　　1　日　当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
運転手（特殊）		人				
軽油		L	31			
トラック［クレーン装置付］	ﾍﾞｰｽﾄﾗｯｸ4~4.5t積 吊能力2.9t	供用日	1.2			
諸雑費（まるめ）		式	1			
計	1日　当り					

SDGD32320

第 59 号　単価表　　本管口仕上工　　14　箇所　当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人				
特殊作業員		人				
普通作業員		人				
トラック運転	2t積	日				第 64 号単価表参照
計	14 箇所　当り					
	1 箇所　当り					

SDGD32290
　J01　既設管径(mm) = 3　　管径２５０mm

第 60 号　単価表　　本管口仕上工　　14　箇所　当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人				
特殊作業員		人				
普通作業員		人				
トラック運転	2t積	日				第 64 号単価表参照
計	14 箇所　当り					
	1 箇所　当り					

SDGD32290
　J01　既設管径(mm) = 4　　管径３００mm

第 61 号　単価表　　本管用ＴＶカメラ車運転　　2t 95.5kW　　1　日　当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
運転手（一般）		人				
ガソリン	レギュラー	L	26			
本管用ＴＶカメラ車	2t 95.5kw	供用日	1.3			
諸雑費（まるめ）		式	1			
計	1日　当り					

SDGD32355

第 62 号　単価表　　高圧洗浄車運転　　4t 154kW　　1　日　当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
運転手（一般）		人				
軽油		L	31			
高圧洗浄車	4t 154kW	供用日	1.3			
諸雑費（まるめ）		式	1			
計	1日　当り					

SDGD32340

第 63 号　単価表　　せん孔機車運転　　2t 84kW　　1　日　当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
運転手（一般）		人				
軽油		L	21			
せん孔機車	2t 84kW	供用日	1.2			
諸雑費（まるめ）		式	1			
計	1日　当り					

SDGD32350

第 64 号　単価表　　トラック運転　　2t積　　1　日　当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
運転手（一般）		人				
軽油		L	18			
トラック［普通型］	２ｔ積	供用日	1.1			
諸雑費（まるめ）		式	1			
計	１日　当り					

SDGD32330

第 65 号　単価表　　発動発電機運転　　ﾃﾞｨｰｾﾞﾙｴﾝｼﾞﾝ駆動 排対 25kVA　　1　日　当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
軽油		L	15			
発動発電機［ディーゼルエンジン駆動］	２５ｋＶＡ	日				
諸雑費（まるめ）		式	1			
計	1日　当り					

SDGD32380

第 66 号　単価表　　発動発電機運転　　ﾃﾞｨｰｾﾞﾙｴﾝｼﾞﾝ駆動 5kVA　　1　日　当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
軽油		L	4.2			
発動発電機［ディーゼルエンジン駆動］	５ｋＶＡ	日				
諸雑費（まるめ）		式	1			
計	1日　当り					

SDGD32400

(A-10-4)

第 67 号　単価表　　陶管撤去工　150mm　10　m　当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人				
普通作業員		人				
ｸﾚｰﾝ機能付ﾊﾞｯｸﾎｳ(ｸﾛｰﾗ型)運転	標準型 山積0.28m3(平積0.2m3) 吊能力1.7t 排出ｶﾞｽ対策型(第1次基準値)低騒音型	日				第 81 号単価表参照
諸雑費		式	1			
計	10ｍ　当り					
	1ｍ　当り					

D6365C
[呼び径(mm)]=150, [公害対策機種]='排ガス対策型(第1基準)', [低騒音機種]=低騒音型

第 68 号　単価表　　現場発生品及び支給品運搬　　陶磁器廃材　　1　t　当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
トラック［クレーン装置付］	ベーストラック２ｔ積　吊能力２．９ｔ	%	K1			
労務構成比		%	R			
運転手（特殊）		%	R1			
特殊作業員		%	R2			
材料構成比		%	Z			
軽油		%	Z1			
	１ｔ　当り					

SCB010410
J01　ﾄﾗｯｸ機種 = 1　　ｸﾚｰﾝ装置付2t積､吊能力2.9t　　J02　DID区間の有無 = 2　　有り
J04　片道運搬距離（km）DID有 = 3　　5.0km以下

第 69 号　単価表　　機械投入埋戻工(小型ﾊﾞｯｸﾎｳ)　　100　m3　当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人				
普通作業員		人				
小型ﾊﾞｯｸﾎｳ運転(1次)	山積0.08m3(平積0.06m3)	日				第 82 号単価表参照
タンパ締固め		m3	100			第 83 号単価表参照
諸雑費 (まるめ)		式	1			
計	100ｍ3　当り					
	1ｍ3　当り					

SDGD10120
J01　小型ﾊﾞｯｸﾎｳ規格 = 1　　排対(1次)山積0.08m3(平0.06m3)　　J02　タンパ締固め数量(m3) (実数) [m3/100m3] = 100

第 70 号　単価表　　発生土運搬工　　現場～仮置場　　10　m3　当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ	2t積級	日				第 84 号単価表参照
計	10ｍ3　当り					
	1ｍ3　当り					

SDGD10160

J01　ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ規格 = 2	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ 2t積級	J02　運搬距離（実数入力）[km] = 2	
J03　DID区間 = 2	DID区間あり	J04　ﾊﾞｯｸﾎｳ規格 = 3	排対(2次)山積0.28m3(平0.2m3)
J05　ﾀｲﾔ損耗費 = 2	良好		

第 71 号　単価表　　積込（ルーズ）　　1　m3　当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
バックホウ（クローラ）［標準］	排ガス型（第２次）　山積０．２８ｍ３	%	K1			
労務構成比		%	R			
運転手（特殊）		%	R1			
材料構成比		%	Z			
軽油		%	Z1			
	1ｍ3　当り					

SCB210020
J01　土質 = 1　　土砂　　J02　作業内容 = 4　　小規模（標準）

第 72 号　単価表　　土砂等運搬　　1　m3　当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
ダンプトラック［オンロード・ディーゼル］	２ｔ積級 ﾀｲﾔ損耗費及び補修費(良好)含	%	K1			
労務構成比		%	R			
運転手（一般）		%	R1			
材料構成比		%	Z			
軽油		%	Z1			
	1m3　当り					

SCB210110
J01　土砂等発生現場 = 2　小規模
J02　積込機種･規格 = 6　ﾊﾞｯｸﾎｳ山積0.13m3（平積0.1m3）
J03　土質 = 1　土砂（岩塊･玉石混り土含む）
J04　DID区間の有無 = 2　有り
J16　運搬距離（km）（DID区間有） = 12 15.0km以下

第 73 号　単価表　　舗装切断排水運搬工　　1　m3　当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
ダンプトラック［オンロード・ディーゼル］	２ｔ積級 ﾀｲﾔ損耗費及び補修費(良好)含	%	K1			
労務構成比		%	R			
運転手（一般）		%	R1			
材料構成比		%	Z			
軽油		%	Z1			
	1m3　当り					

SCB210110
J01　土砂等発生現場 = 3　現場制約あり
J02　積込機種･規格 = 7　人力
J03　土質 = 1　土砂（岩塊･玉石混り土含む）
J04　DID区間の有無 = 2　有り
J18　運搬距離（km）（DID区間有） = 13 23.0km以下

第 74 号　単価表　　殻運搬　　1　m3　当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
ダンプトラック［オンロード・ディーゼル］	２ｔ積級 ﾀｲﾔ損耗費及び補修費(良好)含	%	K1			
労務構成比		%	R			
運転手（一般）		%	R1			
材料構成比		%	Z			
軽油		%	Z1			
	1m3　当り					

SCB227010
J01　殻発生作業 = 3　　舗装版破砕
J02　積込工法区分 = 4　　機械積込（小規模土工）
J03　DID区間の有無 = 2　　有り
J10　運搬距離（km）（DID区間有） = 11　11.0km以下
J13　費用の内訳 = 1　　全ての費用

第 75 号　単価表　　土砂等運搬　　路盤　　1　m3　当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
ダンプトラック［オンロード・ディーゼル］	２ｔ積級 ﾀｲﾔ損耗費及び補修費(良好)含	%	K1			
労務構成比		%	R			
運転手（一般）		%	R1			
材料構成比		%	Z			
軽油		%	Z1			
	1ｍ3　当り					

SCB210110
J01　土砂等発生現場 = 2　小規模
J02　積込機種･規格 = 6　ﾊﾞｯｸﾎｳ山積0.13m3（平積0.1m3）
J03　土質 = 1　土砂（岩塊･玉石混り土含む）
J04　DID区間の有無 = 2　有り
J16　運搬距離（km）（DID区間有） = 11 11.0km以下

第 76 号　単価表　　上層路盤（車道・路肩部）　　RM-30 t=150　　1　m2　当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
モータグレーダ［土工用］	排出ｶﾞｽ対策(2014年規制)ﾌﾞﾚｰﾄﾞ幅3.1m	%	K1			
ロードローラ［マカダム］	運転質量１０～１２ｔ	%	K2			
タイヤローラ［普通型］	運転質量１３～１４ｔ	%	K3			
労務構成比		%	R			
運転手（特殊）		%	R1			
普通作業員		%	R2			
特殊作業員		%	R3			
土木一般世話役		%	R4			
材料構成比		%	Z			

第 76 号　単価表　　上層路盤（車道・路肩部）　　RM-30 t=150　　1　m2　当り　　2 頁

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
再生粒度調整砕石	RM30～0	%	Z1			
軽油		%	Z2			
	1 m2　当り					

SCB410040
J01　材料 = 7　　再生粒度調整砕石 RM-30　　J06　全仕上り厚（実数入力）[mm] = 150
J07　施工区分 = 1　　1層施工　　J09　費用の内訳 = 1　　全ての費用

第 77 号　単価表　　下層路盤（車道・路肩部）　　RC-40 t=200　　1　m2　当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
モータグレーダ［土工用］	排出ｶﾞｽ対策(2014年規制)ﾌﾞﾚｰﾄﾞ幅3.1m	%	K1			
ロードローラ［マカダム］	運転質量１０～１２ｔ	%	K2			
タイヤローラ［普通型］	運転質量１３～１４ｔ	%	K3			
労務構成比		%	R			
運転手（特殊）		%	R1			
普通作業員		%	R2			
特殊作業員		%	R3			
土木一般世話役		%	R4			
材料構成比		%	Z			

第 77 号　単価表　　下層路盤（車道・路肩部）　　RC-40 t=200　　1　m2　当り　　2 頁

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
再生クラッシャーラン	ＲＣ－４０	%	Z1			
軽油		%	Z2			
	1 m2　当り					

SCB410030
J01　全仕上り厚（実数入力）[mm] = 200
J02　施工区分 = 1　　1層施工
J03　材料 = 6　　再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40
J04　費用の内訳 = 1　　全ての費用

第 78 号　単価表　　路盤工　　RC-40 t=150　　1　m2　当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
小型ﾊﾞｯｸﾎｳ(ｸﾛｰﾗ型)[後方超小旋回型]	超低騒音型 排ｶﾞｽ型(第3次) 山積0.09m3	%	K1			
振動ローラ（舗装用）[搭乗･ｺﾝﾊﾞｲﾝﾄﾞ式]	運転質量３～４ｔ	%	K2			
労務構成比		%	R			
運転手（特殊）		%	R1			
特殊作業員		%	R2			
普通作業員		%	R3			
土木一般世話役		%	R4			
材料構成比		%	Z			
再生クラッシャーラン	ＲＣ－４０	%	Z1			

第 78 号　単価表　　路盤工　　RC-40 t=150　　1　m2　当り　　2 頁

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
軽油		%	Z2			
	1 m2　当り					

SCB410031
J01　全仕上り厚（実数入力）[mm] = 150
J02　施工区分 = 1　　1層施工
J03　材料 = 6　　再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40
J04　費用の内訳 = 1　　全ての費用

第 79 号　単価表　　フィルター層　　砂 t=50　　1　m2　当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
小型ﾊﾞｯｸﾎｳ(ｸﾛｰﾗ型)[後方超小旋回型]	超低騒音型 排ｶﾞｽ型(第3次) 山積0.11m3	%	K1			
振動ローラ（舗装用）[搭乗･ｺﾝﾊﾞｲﾝﾄﾞ式]	運転質量３～４ｔ	%	K2			
労務構成比		%	R			
運転手（特殊）		%	R1			
特殊作業員		%	R2			
普通作業員		%	R3			
土木一般世話役		%	R4			
材料構成比		%	Z			
砂（フィルター材）	透水性舗装用（シルト分６％以下）	%	Z1			

第 79 号　単価表　　フィルター層　　砂 t=50　　1　m2　当り　　2 頁

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
軽油		%	Z2			
	1 m2　当り					

SCB410650
J01　平均厚さ = 1　　40mm以上60mm未満

第 80 号　単価表　　インターロッキングブロック撤去・再設置　　100　m2　当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
インターロッキングブロック撤去工	再使用 R7月単位現場閉所	m2	100			
インターロッキングブロック設置工 一般部	Ｔ＝６ｃｍ　標準品　直線配置 R7月単位現場閉所	m2	100			
インターロッキングブロック	ブロック厚６ｃｍ　標準品	m2	100			
インターロッキングブロック	ブロック厚６ｃｍ　標準品	m2	2			
砂	クッション用	m3	3.87			100*(30/1000)*(1+0.29)
諸雑費（まるめ）		式	1			
計	100ｍ2　当り					
	1ｍ2　当り					

SWB810420

J01	作業区分 = 1	撤去及び再設置	
J02	再設置作業区分 = 1	直線配置 ブロック厚 6cm	
J03	敷材料の種類 = 4	砂（クッション用）	
J04	敷材料の厚さ（実数入力）[mm] = 30		
J05	施工規模による加算 = 2	100m2未満	
J06	時間的制約を受ける場合の補正 = 1	無	
J07	夜間作業補正 = 1	無	

第 81 号　単価表　　ｸﾚｰﾝ機能付ﾊﾞｯｸﾎｳ(ｸﾛｰﾗ型)運転　　標準型 山積0.28m3(平積0.2m3) 吊能力1.7t 排出ｶﾞｽ対策型(第1次基準値)低騒音型　　1　日　当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
運転手 (特殊)		人				
軽油		L	34			
ｸﾚｰﾝ機能付ﾊﾞｯｸﾎｳ(ｸﾛｰﾗ型)賃料	標準型 山積0.28m3(平積0.2m3) 吊能力1.7t 排出ｶﾞｽ対策型(第1次基準値)低騒音型	供用日	1.5			
諸雑費		式	1			
計	1日　当り					

機一２８, [労務数量]=1, [燃料消費量]=34, [賃料数量]=1.5, [公害対策機種]='排ガス対策型(第1基準)', [低騒音機種]=低騒音型

第 82 号　単価表　　小型ﾊﾞｯｸﾎｳ運転(1次)　　山積0.08m3(平積0.06m3)　　1　日　当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
特殊作業員		人				
軽油		L	17			
小型バックホウ（クローラ）［標準］	排出ガス対策型（第1次基準）　山積0.08m3	供用日	1.78			
諸雑費（まるめ）		式	1			
計	1日　当り					

SDGD10060

第 83 号　単価表　　タンパ締固め　　1　m3　当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
タンパ及びランマ	質量　６０～８０ｋｇ	%	K1			
労務構成比		%	R			
特殊作業員		%	R1			
普通作業員		%	R2			
材料構成比		%	Z			
ガソリン	レギュラー	%	Z1			
	1ｍ3　当り					

SCB210450
J01　費用の内訳 = 1　　全ての費用

第 84 号　単価表　　ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　　2t積級　　1　日　当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
運転手（一般）		人				
軽油		L	21			
ダンプトラック［オンロード・ディーゼル］	２ｔ積級	供用日	1.29			
タイヤ損耗費	２～３ｔ積級　良好　供用日	供用日	1.29			
諸雑費（まるめ）		式	1			
計	1日　当り					

SDGD10190
　J01　機械損耗部品補正 = 2　　良好

設 計 基 本 情 報

項　目	内　容	備　考
単価世代	2026年9月1日	AFコードは令和8年度単価採用
諸経費の工種	下水道工事(４)	
施工地域補正	一般交通影響有り(2)-2	
時間的制約状況(昼間)	制約を受ける	作業時間：7.5時間（1.06）但し、交通誘導員については、時間的制約を考慮しない。
週休2日補正	有り	月単位＜現場閉所＞
労務費	端数処理	労務費単価の端数処理は、小数点以下を切捨てし、1円単位とする。
その他		

一 式 当 た り 内 訳 書

種別	細別	名称	規格	単位	数量	摘要

契約条件明示及び特記仕様書
汚水管きょ更生工事(R8-3)

一般事項

１－１　適用

本仕様書は、松戸市が発注する「汚水管きょ更生工事(R8-3)」に適用する。本仕様書および図面等の設計図書の定めのない事項については千葉県土木工事共通仕様書に準拠するものとする。

１－２　目的

本工事の目的は、より良い市民生活を目指す本市下水道整備事業に基づき、その計画を遂行する為に必要な施設を構築することにある。請負者は、その主旨をよく理解した上で施工にあたらなければならない。

１－３　施工計画書

１．請負者は、工事着手前に工事目的物を完成するために必要な手順や工法等についての施工計画書を監督職員に提出しなければならない。

請負者は、施工計画書を遵守し工事の施工に当たらなければならない。この場合、請負者は、施工計画書に次の事項について記載しなければならない。また、監督職員がその他の項目について補足を求めた場合には、追記するものとする。なお、計画においては、請負者の創意工夫をもって立案し、要求された品質・性能を満足する工事目的物を約束の期日までに発注者に引き渡せるように計画するものとし、設計内容を熟知した上で、疑義がある場合は予め監督職員と協議するものとする。

（１）工事概要
（２）計画工程表
（３）現場組織表
（４）指定機械
（５）主要機械
（６）主要資材
（７）施工方法（主要機械、仮設備計画、工事用地等を含む）
（８）施工管理計画
（９）安全管理
（10）緊急時の体制及び対応
（11）交通管理
（12）環境対策
（13）現場作業環境の整備
（14）再生資源の利用の促進と建設副産物の適正処理方法
（15）その他

２．請負者は、施工計画書の内容に重要な変更が生じた場合には、その都度当該工事に着手する前に変更に関する事項について、変更施工計画書を監督職員に提出しなければならない。

３．請負者は、施工計画書を提出した際、監督職員が指示した事項について、さらに詳細な施工計画書を提出しなければならない。

４．本工事の仮設物については、図面等の設計図書に特別な定めがある場合を除き、請負者において任意に計画できるものとし、その詳細については施工計画書に明示しな

ければならない。

１－４　使用材料

請負者は、工事着手前に工事目的物を完成するために必要な主要な使用材料について監督職員に提出しなければならない。

１－５　施工管理

施工管理は、特に定めがある場合を除き、千葉県土木工事共通仕様書・施工管理基準に基づき行うものとする。

１－６　工事着手前の確認

１．請負者は、工事着手前に現地を十分に踏査し、設計図書と現地が一致しているかを十分に確認し、その結果を監督職員に報告しなければならない。

２．請負者は、工事着手に先立ち、関係機関との手続きは勿論、近隣住民等へ周知を徹底し、通行人を含め第三者とのトラブルを回避するよう努めなければならない。

３．請負者は、工事の施工に当たり、損傷の受けるおそれのある境界杭または障害となる杭の設置換え、移設及び復元を含めて適切な措置を講じなければならない。

４．既設の埋設物については、施工者においても十分調査し、要所においては必要により試験掘りを行い、企業者の立ち会いを求め確認し、書面にてその結果を監督職員に報告すること。また、このことにより設計内容に変更を伴うと思われるときは、速やかに監督職員と協議しなければならない。

５．本工事に伴う家屋事前調査については実施していないため、請負者においては万が一の影響を考慮し、工作物等の状況を原則所有者立ち会いまたは了解を得て写真により記録し、施工計画書と共に監督職員に提出するものとする。工事用地、資材及び重機置場として借地した土地の近接家屋についても同様とする。

１－７　その他

１．施工管理に関しては、十分に工程を管理し定期的にフィードバックするとともに毎月１回下水道施工管理様式（下水道第４号様式）に基づき月間工程報告書を提出しなければならない。

２．工事施工に伴って通常発生する物件等の毀損の補修費及び騒音、振動、濁水、交通等による事業損失に係る補償費は現場管理費に含むものとする。ただし、臨時にして巨額なものは除く。

３．現場は常に整理整頓に心掛け、施工中は勿論、施工のしていないときにも危険のないようにしておかなければならない。

４．本工事と近接する工事がある場合は、互いの工程に支障をきたさぬよう十分に調整を行い、道路規制においては通行不可能箇所が発生しないよう施工を調整する等、近隣住民や通行交通（通行人を含む）等への影響を最小限にとどめるよう努めること。

５．請負者は工事（工事請負代金額が500万円以上（消費税を含む））の施工において、自ら立案実施した創意工夫や地域社会への貢献として評価できる項目に関する事項について、施工計画書に明記して提出することができる。

６．令和７年８月２日 埼玉県行田市において、全国特別重点調査に従事中の調査作業員４名が死亡する事故が発生しました。作業にあたっては、この事故を教訓とし、下水の流状の確認、管路内の硫化水素や酸素濃度の測定・換気等、安全対策の徹底を図ること。

週休２日制適用工事（閉所場所による週休２日工事）について

１．本工事は、週休２日制適用工事である。
２．受注者は、現場閉所による週休２日工事として取り組むこと。なお、予定価格には月単位の週休２日（４週８休以上）達成相当の経費を補正している。
３．受注者が、工事着手前に完全週休２日（土日）の取組を希望し、かつ対象期間内において完全週休２日（土日）相当を達成した場合は、経費に補正係数を乗じ変更するものとする。
４．週休２日制の実施にあたっては、「松戸市建設工事週休２日制適用工事実施要領」に基づき行うこと。

環境対策について

１．　請負者は、建設工事に伴う騒音振動対策技術指針（建設大臣官房技術審議官通達、昭和62年3月30日）、関連法令並びに仕様書の規定を遵守の上、騒音、振動、大気汚染、水質汚濁等の問題については、施工計画及び工事の実施の各段階において十分に検討し、周辺地域の環境保全に努めなければならない。
２．　請負者は、環境への影響が予知されまたは発生した場合は、直ちに応急措置を講じ監督職員に報告し、監督職員の指示があればそれに従わなければならない。また、第三者からの環境問題に関する苦情に対しては、誠意をもってその対応にあたり、その交渉等の内容は、後日紛争とならないよう文書で確認する等明確にしておくとともに、状況を随時監督職員に報告し、指示があればそれに従うものとする。
３．　工事の使用機械は、低騒音型・低振動型及び排出ガス対策型機械を使用し、第三者に不快感を与えないよう努めること。また、工事施工に伴い、第三者に被害を及ぼすことが懸念される場合は、請負者においても事前に調査するなど適切な措置を講ずること。

交通安全管理について

１．　本工事は昼間作業（9：00～17：00）を原則とする。施工中の交通整理員は、１日２名以上の配置を原則とするが、工種や施工形態及び交通量等を考慮し、増員等をもって安全の確保に努めなければならない。また、休憩時間（昼休み等）においても同様とする。
２．　交通規制は、周辺工事との調整を図り適切に行わなければならない。規制においては、近隣住民や通過交通(通行人を含む)等への影響を最小限に留めるよう努めること。また、迂回路や迂回先についても常に把握し、周辺工事で通行止め等が行われている場合には、双方で協議して通過交通への説明ができるよう配慮を行うこと。
３．　施工においては、労働安全衛生法、道路交通法、騒音・振動規制法その他の関係法令を遵守しなければならない。
４．　本工事で使用する建設機械や資材等は、原則夜間・休日に道路上に放置してはならない。なお、その保管方法については施工計画書に明示しなければならない。

建設副産物について

１．共通事項

(1)　受注者は、建設副産物対策を適切に実施するため、工事現場における責任者を明確にすること。また、責任者は、再生資源利用計画、再生資源利用促進計画、廃棄物処理計画等の内容について現場担当者の教育を十分に行うとともに、下請負者にもこれを周知徹底すること。

(2)　請負者は「建設リサイクル推進計画２０２０」に基づき、本工事に係る「再生資源利用計画書」及び「再生資源利用促進計画書」を「建設副産物情報交換システム（ＣＯＢＲＩＳ）」により作成し、施工計画書に含め各１部提出すること。また、計画の実施状況（実績）については、「再生資源利用実施書」及び「再生資源利用促進実施書」並びに「建設副産物情報交換システム工事登録証明書」を同システムにより作成し、各１部提出するとともに、これらの記録を工事完成後一年間保存しておくこと。

(3)　建設副産物の処理に先立ち、「建設副産物処理承認申請書」により監督職員の確認を受け、同申請書を２部提出すること。

(4)　建設廃棄物の処分にあたって、排出事業者（元請業者）は処分業者と建設廃棄物処理契約を締結し、建設廃棄物処理委託契約書（厚生省作成または建設八団体廃棄物対策連絡会作成様式）を監督職員に提示するとともに、同契約書の写しを提出すること。なお、収集運搬業務を収集運搬業者に委託する場合は、別に収集運搬業者と建設廃棄物処理契約を締結すること。

(5)　建設副産物の処理完了後速やかに「建設副産物処理調書」を作成し、監督職員に２部提出するとともに、実際に要した処分費（受入伝票、写真等）を証明する資料を監督職員に提示し、確認を受けること。

(6)　建設廃棄物については、「建設廃棄物処理におけるマニフェストシステム（集荷目録制）」の実施に基づく、建設廃棄物マニフェストＡ票、Ｂ２票、Ｄ票、Ｅ票（複写式伝票）を監督職員に提示し、確認を受けるとともに、Ｄ票、Ｅ票の写しを提出すること。また、排出事業者はＡ、Ｂ2、Ｄ、Ｅ票を５年間保存する。

(7)　発生した余剰材は、元請業者が、責任をもって処理することが基本であり、資材として再利用される場合以外は協力業者や資材納入業者に持ち帰らせてはならない。

２．建設発生土

建設発生土は、（　　1 m3）は、柏市岩井 296 番地 1 地先、
片道運搬距離 13.5 ㎞の㈱エスブロックに搬出するものとする。
建設発生土の処分については、仮置きについて考慮するものとする。

３．改良土

発生土の内、図面等の指示により改良土を埋戻し材として利用する場合は千葉県知事の許可を得た改良プラントに発生土を搬出し、改良土を得るものとする。

４．路盤廃材

本工事により発生する路盤廃材（　1 m3）は、柏市風早一丁目 5 番地 1 地先、
片道運搬距離 9.6 ㎞の東京石油興業㈱に運搬に運搬し、処理するものとする。

５．建設廃棄物

本工事により発生する

１）アスファルト塊（　1 m3）は、柏市風早一丁目 5 番地 1 地先、
片道運搬距離 9.6 ㎞の東京石油興業㈱に運搬し、処理するものとする。

２）コンクリート塊（　　m3）は、　　市　　町地先、
片道運搬距離　　㎞の　　に運搬し、処理するものとする。

３）建設発生木材（　　m3）は、　　市　　町地先、
片道運搬距離　　㎞の　　に運搬し、処理するものとする。

４）建設汚泥（　0.02 m3）は、八千代市吉橋字内野 1075 番地 9 地先、
片道運搬距離 16.0 ㎞の千葉丸辰道路㈱に運搬し、処理するものとする。

５）建設混合廃棄物（　　m3）は、　　市　　町地先、
片道運搬距離　　㎞の　　に運搬し、処理するものとする。

なお、運搬に先立ち受け入れ条件等を確認し、監督職員に報告するものとする。工事発注後、上記の指定処理により難い場合は、監督職員と協議するものとする。片道運搬距離は積算上処理分区ごとに代表地点から算出した距離であり、実際の運搬距離と差異が生じた場合においては設計変更の対象としない。また、元請業者は次の事項に留意し建設廃棄物を運搬しなければならない。

(1) 廃棄物処理法に規定する処理基準を遵守すること。
(2) 運搬経路の適切な設定並びに車両及び積載量等の適切な管理により騒音、振動塵芥等の防止に努めるとともに、安全な運搬に必要な措置を講じること。
(3) 運搬途中において積替えを行う場合は、関係者と打ち合わせを行い、環境保全に留意すること。
(4) 混合廃棄物の積替保管に当たっては、手選別等により廃棄物の性状を変えないこと。

工事実績情報作成、登録（旧工事カルテ作成、登録）について

請負者は、受注時または変更時において工事請負代金額が 500 万円以上の工事について、工事実績情報サービス（CORINS）に基づき、受注・変更・完成・訂正時に工事実績情報を作成し監督職員の確認を受けたうえ、受注時は契約後、土曜日、日曜日、祝日等を除き 10 日以内に、登録内容の変更時は変更があった日から土曜日、日曜日、祝日等を除き 10 日以内に完成時は、工事完成後 10 日以内に、訂正時は適宜登録機関に登録申請をしなければならない。

登録対象は、工事請負代金 500 万円以上の全ての工事とし、受注・変更・完成・訂正時にそれぞれ登録するものとする。

なお、変更登録時は、工期、技術者に変更が生じた場合に行うものとし、工事請負代金のみ変更の場合は、原則として登録を必要としない。

また、登録機関発行の「登録内容確認書」が請負者に届いた際には、その写しを直ちに監督職員に提示しなければならない。なお、変更時と完成時の間が 10 日間に満たない場合は、変更時の提示を省略できるものとする。

情報共有システムの活用について

本工事は、情報共有システムの対象工事である。ただし、活用による生産性向上が見込まれないなどと判断される場合は、受発注者間の協議により、実施の有無を決定することとする。

実施にあたっては「松戸市土木工事情報共有システム試行要領」に基づくものとする。

管きょ更生工

１－１　適用

１．本仕様書は、管きょ更生工法に適用するものとする。

２．本工事の更生工法は、特定の工法を指定したものではない。ただし、次項に示す条件を満たしたうえで、出来形・品質・安全性を十分に確保しなければならない。

３．管きょ更生法は、本管に適用する。

１－２　工法及び使用材料

１．請負者は、更生工法及び使用する更生材料については諸条件を検討の上選定し、施工計画書に明記し監督職員に提出しなければならない。

２．本工事で使用する管きょ更生材料は自立管とする。自立管は、既設管きょの耐荷力を見込まず、管に作用する外力や劣化を引き起こす物質等に対して、自らで外力に抵抗するものとし、新管（下水道用硬質塩化ビニル管（JSWAS K-1））と同等以上の耐荷能力及び耐久性を有するものとする。

３．更生工法及び更生材料等の仕様については、「管きょ更生工法における設計・施工管理ガイドライン-2026年版-」（2026年7月　公益社団法人日本下水道協会）に基づく設計強度（外圧強さ・曲げ強度・曲げ弾性係数）、耐久性（耐薬品性・耐磨耗性・耐ストレインコロージョン性（ガラス繊維を有する場合）・水密性・耐劣化性）、水理性能（粗度係数・成形後収縮性）を有するものであること。

４．本工事で使用する更生材料の施工前における品質確認については、更生材料が適正な管理下で製造されたことを証明する資料を提出しなければならない。

１－３　施工管理

１．施工に当たっては、各工法の専門技術を修得した（各工法技術認定研修修了者）が現場に常駐し指揮、監督を行うこと。

２．更生材料は、高温環境下や紫外線に当たると硬化するため、保冷措置等を講じ、各工法の特性を十分に考慮した保管及び管理に努めること。

３．施工中においては、各種工法の特性を反映し適切に行うことにより、損傷やシワ、はく離等の発生を防ぐこと。また、所定の目的を確保するため、挿入速度、硬化圧力、拡径、硬化温度、硬化時間などを確認する。確認については、自動記録によるものとし、記録紙を提出すること。

４．その他、施工管理については、各工法及びタイプにより「管きょ更生工法における設計・施工管理ガイドライン-2026年版-」（2026年7月　公益社団法人日本下水道協会）に基づき行うものとする。

１－４　出来形管理

１．更生後の出来形を把握するため内径・延長を計測すること。なお、内径については密着性を確認するため、硬化直後と 24 時間以降で図１に示す同位置で計測すること。

測定については、１スパンの上下流マンホールの管口付近で行い、６箇所の平均管厚が呼び厚さ以上で、かつ上限は＋20%以内とし、測定値の最小値は設計更生管厚以上とする。

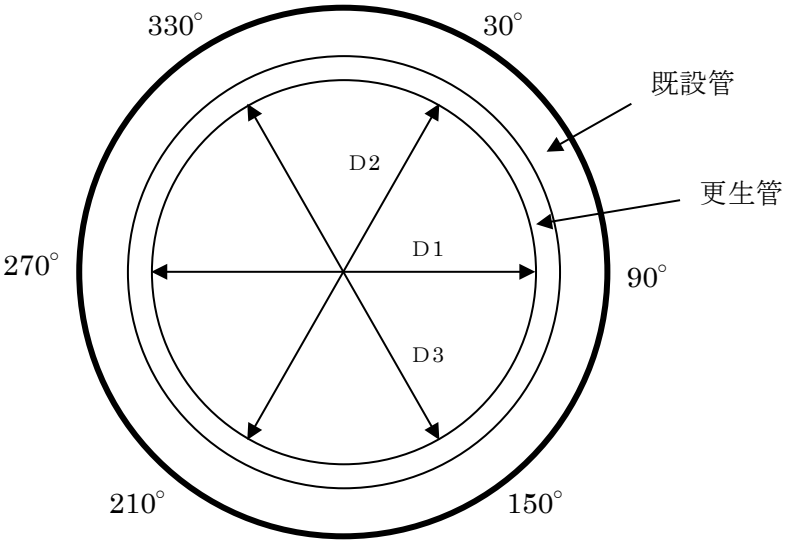


図１　管きょ更生工　内径測定位置図

２．更生管内の内面仕上がり状況については、管きょ内を洗浄し、取付管穿孔片を除去した後、自走式テレビカメラにより外観検査を行うこととする。特に、取付管口においては必ず側視し、状況を入念に確認すること。

１－５　安全管理

請負者は、労働災害はもとより、物件損害等の未然の防止に努め、労働安全衛生法、酸素欠乏症等防止規則、ならびに市街地土木工事公衆災害防止対策要綱等の定めるところに従い、その防止に必要な措置を十分に講ずること。

１－６　環境対策

請負者は、施工時における環境対策について、下記管理事項に十分配慮して行うこと。

（１）工事箇所周辺への事前案内
（２）臭気対策
（３）騒音・振動対策
（４）粉じん対策
（５）防爆対策
（６）宅内への逆流、噴出等の未然防止対策
（７）温水対策
（８）その他

土工

1．　設計図書に特別な定めがある場合を除き、掘削の範囲や施工方法については請負者の定めるところによるものとする。

2．　設計図書に特別な定めがある場合を除き、埋め戻しに使用する土砂は、改良土とし、建設副産物の再利用に寄与するものとする。但し、発生土が良質で埋戻し材として使用できると判断した場合は監督職員の承諾を得て使用できる。この場合、設計変更の対象となる。

3．　現場の状況により、再生砂を埋め戻し材として使用する場合は、１購入先あたり１検体の試験を行うものとする。六価クロムについて、平成3年8月23日付け環境庁告示第46号に規定される測定法に基づき、あらかじめ土壌の汚染に係る環境基準に適合することを確認すること。（「土壌の汚染に係る環境基準について」参照）

4．　排水施設工事（本管、取付管、マンホール等）の埋戻しは、構造物に影響が出ないように配慮し、図面等で別に定める場合を除き、１層の巻き出し厚は以下の通りとする。

松戸市道	一層30㎝以内での転圧
千葉県管理道路	一層15㎝以内での転圧
その他公道	管理者の基準に従うこと。

5．　掘削において、高さが規定されている場合は、余掘り等出来るだけ地山を乱さないように施工すること。また、掘削面が軟弱な場合は砂等で置換するなど検討すること。

6．　国道や県道、河川占用を伴う施工箇所がある場合において、その施工方法については管理者の許可条件に従わなければならない。

舗装復旧工

1．　舗装構成は図面によるが、路盤については骨材の最大粒径の２倍を最小限度として複層転圧し密度を高めること。最大限度は以下の通りである。

松戸市道	上層路盤は 15㎝ 以下、下層路盤は 20㎝ 以下
千葉県管理道路	上層路盤、下層路盤共 10㎝ 以下
その他公道	管理者の基準に従うこと。

これによらない場合は密度試験を行い品質の証明をすること。

2．　本工事の路線は、全て管布設完了後、基準範囲の復旧仕上げとする。この際、即日にて舗設を行うこととする。また、舗装本復旧時にやむを得ず路盤にて開放する時は、監督職員と協議すること。ただし、休日の路盤開放は避けること。

3．　復旧は、解放後段差や凹凸など通行に危険のない様に行わなければならない。瑕疵による場合は引渡し後であっても改善を求めることがある。

品質証明について

本工事は、品質証明の対象工事となり、次の各号によるものとする。

1．　品質証明に従事する者（以下「品質証明員」という。）が工事施工途中において必要と認める時期及び検査（完成、出来形、中間検査をいう。以下同じ。）の事前に品質確認を行い、その結果を所定の様式により、検査時までに監督職員へ提出しなければならない。　（別紙様式１、別紙様式３（独自の様式でも可））

2．　品質証明員は、当該工事に従事していない社内の者とする。また、原則として品質証明員は検査に立会わなければならない。

3．　品質証明は、契約図書及び関係図書に基づき、出来形、品質及び写真管理はもとより、工事全般にわたり行うものとする。

4．　品質証明員の資格は10年以上の現場経験を有し、技術士もしくは１級土木施工管理技士の資格を有するものとする。ただし、監督職員の承諾を得た場合はこの限りでない。

5．　品質証明員を定めた場合、書面により氏名、資格（資格証書の写しを添付）、経験及び経歴書を監督職員に提出しなければならない。なお、品質証明員を変更した場合も同様とする。（別紙様式２）

6．　品質確認の結果、改修すべきものがあった場合は速やかに改修し、社内検査合格後、監督職員の確認を得るものとする。

（様式 1）

品 質 証 明 書

工事名称

品　質　証　明　記　事				
品質証明項目	実施日	箇　所	品質証明員 氏名　　印	記　事

　社内検査した結果、工事請負契約書、図面、仕様書、その他の関係図書に示された品質を確保していることを確認したので報告します。

請負者　　住所

氏名

（様式 2）

品質証明員選任届

監督職員　　殿

請負者　住所

氏名

工事名称

工　期　令和　年　月　日 から 令和　年　月　日 まで

請負金額

上記工事の品質証明員を下記のとおり定めたので、別紙経歴書を添えて報告します。

記

	氏　名	経験年数	資　格
1			
2			
3			

以上

（様式 3）

工事名称
検査日時
検査員氏名

社内検査記録

検査項目		認定基準	評価	特記事項
書類に関する事項	施工計画書	施工計画書は適切に活用されているか。		
		施工計画書と実施が異なる場合には適切に処理されているか。		
	工程管理	工程表を作成し、工程をフォローアップしているか。		
	協議書等の整理	協議書、指示書は適切に処理されているか。		
		工程、工法、工期に変更がある場合はどうか。		
	出来形管理	出来形数量計算書及び完成図書は作成されているか。		
		出来形管理表は作成されているか。		
	品質管理	材料検査表、試験成績表、ミルシート等は整理されているか。		
		管理図表は整理されているか。		
		各工種、項目毎に管理基準精度を満足しているか。		
	写真管理	写真撮影内容は目的を満足しているか。		
		電子データ及びアルバムの整理は要領よくなされているか。		
		着工前、しゅん工後の写真はよく撮れているか。		
	安全管理	安全日誌、安全パトロール等の資料は整理されているか。		
		第三者への安全対策は充分になされているか。		
		安全・訓練等の実施。		
現場に関する事項	出来形	目的物の出来形は設計図書を満足しているか。		
		二次製品は設計図書に示されている規格を満足しているか。		
		目的物の仕上がりはどうか。		
		隣接する他の工作物との取り合いはどうか。		
	後片付け及び現場の清掃	車道部、歩道部、特に目的物周辺の清掃。		
		残材の片付け。		
		隣接する家屋等の補償。		
		仮設工事用道路、現場事務所等の片付け清掃。		
	保安関係	保安施設は的確に設置されているか。		
		標識類の設置は適切か。		
		第三者からの苦情処理は適切か。		
		事故の発生状況。		
	現場のイメージアップ	施工計画書のとおり実施しているか。（経費計上の場合）		
評価記号の判定		Ａ：90 点以上　Ｂ：75～89 点　Ｃ：60～74 点　Ｄ：59 点以下 Ａ、Ｂは合格　Ｃ以下是正		

（記事）

雨天時における安全管理に関する特記仕様書

１　請負者は、突発的な局所的集中豪雨に対しても工事の安全管理に万全を期するため、以下の作業中止基準を遵守しなければならない。気象情報については注意報及び警報の対象を大雨、洪水のいずれかとする。

（１）作業開始前

① 当該施工箇所に、一滴でも雨が降ってる場合、作業は開始しない。

② 当該施工箇所に係る気象区域に、注意報または警報が発令されている場合、作業は開始しない。

（２）作業開始後

① 当該施工箇所に、一滴でも雨が降れば、即刻作業を中断し、一時地上に避難する。

② 当該施工箇所に係る気象区域に、注意報または警報が発令された場合、即刻作業を中断し、一時地上に避難する。

③ 避難に関しては、作業中の資器材を放置する。

（３）作業開始・再開の条件

作業の開始及び再開にあたっては、次の三項目のすべてが確認されることを条件とする。

① 当該施工箇所に雨が降っていないこと、また、当該施工箇所に係る気象区域に、注意報または警報が発令されていないことが確認されること。

② 管内の水位を計測し、事前の調査に基づく通常水位と変わらないことが確認されること。

③ 作業着手前の安全確認について、施工計画書に定める事項の全てを完了すること。

２　請負者は、急激な気象変動などの気象情報を迅速に取得するため、気象担当者の携帯電話に、注意報及び警報の自動配信システムを配備しなければならない。

３　請負者は、作業員が管内から地上に、安全かつ迅速に退避するため、人命の最優先を基本とし、ブザー付回転灯の配備、退避時の資器材放置及びこれらを盛り込んだ退避計画を作成し、施工計画書に記載なければならない。退避計画の基本事項は、次の通りとする。

① 作業中止基準の明示

② ブザー付回転灯の配備等、退避指示の確実な伝達方法

③ 退避時に放置する資器材などによる管内の状況や退避時間を考慮した退避ルートの決定

④ 工事着手前における退避訓練の実施方法

４　請負者は、不測の事態においても人命を確保するため、作業に先立ち、管内に人孔間を結ぶ救助用ロープの設置、人孔への縄梯子の設置、安全帯の装着など、適宜、作業環境に応じた対策を組み合わせ、安全対策の充実を図らなければならない。

汚水管きょ更生工事(R8-3)　総括表

工　種	形 状 寸 法	単位	数量
1．既設管内洗浄・調査・処理工			
管きょ内洗浄工		m	239
本管ＴＶ調査工		m	239
異物除去工	木根等	箇所	24
カッター工		箇所	1
2．更生材料			
更生管材	φ250	m	203
更生管材	φ300	m	36
3．反転・形成			
反転・引込工	φ250	m	198
反転・引込工	φ300	m	35
硬化・形成工	φ250	m	198
硬化・形成工	φ300	m	35
4．仕上			
本管口切断工	φ250	箇所	10
本管口切断工	φ300	箇所	2
本管口仕上工	φ250	箇所	10
本管口仕上工	φ300	箇所	2
取付管せん孔仕上工(１日施工)		箇所	1
取付管せん孔仕上工(分割施工)	仮せん孔	箇所	20
取付管せん孔仕上工(分割施工)	本せん孔	箇所	20
5．仮設備			
仮設備設置・撤去工	設置　φ250	回	5
仮設備設置・撤去工	設置　φ300	回	1
仮設備設置・撤去工	撤去　φ250	回	5
仮設備設置・撤去工	撤去　φ300	回	1
6．換気設備			
換気設備工		日	9
7．反転・形成用水替			
潜水ポンプ運転工	φ250	日	7
潜水ポンプ運転工	φ300	日	2
止水プラグ損料	φ250	日	7
止水プラグ損料	φ300	日	2

汚水管きょ更生工事(R8-3)　総括表

工　種	形 状 寸 法	単位	数量
8．取付管布設替・閉塞工			
取付管布設および支管取付工	3m未満	箇所	2
既設取付管処分工		式	1
陶管・ﾋｭｰﾑ管用閉塞キャップ		個	1
9．取付管土工			
床掘り		㎥	5
土砂等運搬		㎥	4
機械投入埋戻工		㎥	4
残土処分工		㎥	1
１０．附帯工			
舗装版切断工		m	14
舗装版切断排水処分工		㎥	0.02
舗装版破砕積込		㎡	18
As廃材運搬処分工		㎥	1
路盤掘削		㎥	1
路盤材運搬処分工		㎥	1
路盤工	市道一般	㎡	4
路盤工	歩道（インターロッキング）	㎡	2
舗装工(仮復旧)	市道一般	㎡	4
舗装工(仮復旧)	歩道（インターロッキング）	㎡	2
不陸整正工	市道一般	㎡	7
不陸整正工	歩道（インターロッキング）	㎡	5
舗装工(本復旧)	市道一般	㎡	11
インターロッキングブロック撤去・再設置		㎡	7
路面表示	常用	式	1
１１．仮設工			
交通誘導警備員Ｂ		人日	45

集計表

No.	報告書	記録表No.	路線	人孔No.		管種	管径	管路延長	人孔内径			ｽﾊﾟﾝﾗｲﾆﾝｸﾞ		異物除去工（モルタル等）	異物除去工（木根等）	カッター	取付管布設替	備考
									上流	下流	平均	延長	穿孔数					
1	R7-4	86	481-15	481-15-3	481-1	HP	250	36.46	0.90	0.90	0.90	35.56	1					
2	R7-4	87	481-16	481-16-1	481-1	HP	250	38.97	0.90	0.90	0.90	38.07	3					
3	R3-13	9	109	109-1	111-1	HP	250	44.26	0.90	0.90	0.90	43.36	4					異物除去（開削）
4	R8-1	82	28_1	28_1	37-1	HP	250	39.44	0.90	0.90	0.90	38.54	5			1		
5	R8-1	102	36	36-1	37-1	HP	250	43.46	0.90	0.90	0.90	42.56	4		1			
6	22-8	19	320	320-2	322-1	HP	300	36.45	0.90	1.20	1.05	35.40	4		23			取付管布設替 2箇所
7																		
8																		
9																		
10																		
11																		
12																		
13																		
14																		
15																		
16																		

小計					HP	200											
					HP	250	202.59			4.50	198.09	17		1	1		5スパン
					HP	300	36.45			1.05	35.40	4		23			1スパン
					HP	350											
					HP	400											
					HP	450											
					HP	500											
					HP	600											
					HP	700											
合計							239.04			5.55	233.49	21	0	24	1	0	6スパン

開　削　工　数　量　表

No.	既設管材質	延長(m)			公桝布設替	本管管種	本管 φ	管土被 H1	占用距離 L1	占用距離 L2	支障幅 L4	支障深 H7	道路種別	舗装厚 t1	路盤厚 t2	桝深さ H3	取付深 H4	掘削タイプ AorB	掘削延長 L3	仮設延長	矢板長	支保	掘削深 H2	取付管 l1	取付管 l2	取付管延長 l	取付管体積	舗装構成	舗装版切断 単位：m	舗装版取壊し 単位：m²	路盤工 単位：m²	舗装工(仮復旧) 単位：m²	As処分(仮復旧) 単位：m³	路盤掘削 単位：m³	地山掘削 単位：m³	ﾌｨﾙﾀｰ層 単位：m³	埋戻し 単位：m³	舗装版切断(本復旧) 単位：m	舗装版取壊し(本復旧) 単位：m²	舗装工(本復旧) 単位：m²	As処分(本復旧) 単位：m³	不陸 単位：m²
3	-	-	車道部	閉塞不良改修		HP	250	1.14	-	-	-	-	8	0.05	0.35	-	-	A	-	-	-	-	0.84	-	-	-	-	車道一般	8.00	4.00	4.00	4.00	0.20	1.00	2.36	-	1.96	5.80	11.21	11.21	0.56	7.21
6-1	TP	1.80	歩道部 ｲﾝﾀｰﾛｯｷﾝｸﾞ	布設替		HP	300	1.33	1.30	0.50	0.00	0.00	その他	0.06	0.18	0.80	0.81	A	1.60	0.00			1.27	1.30	0.52	1.82	0.05	歩道部 ｲﾝﾀｰﾛｯｷﾝｸﾞ	-	1.04	1.04	1.04	-	0.19	1.13	-	1.13	-	1.04	3.24	0.04	2.20
6-2	TP	2.30	歩道部 ｲﾝﾀｰﾛｯｷﾝｸﾞ	布設替		HP	300	1.40	1.80	0.50	0.00	0.00	その他	0.06	0.18	0.80	0.82	A	2.10	0.00			1.34	1.80	0.58	2.38	0.07	歩道部 ｲﾝﾀｰﾛｯｷﾝｸﾞ	-	1.44	1.44	1.44	-	0.26	1.67	-	1.67	-	1.44	4.14	0.06	2.70
合計		4.10			0															0.00				3.10	1.10	4.20	0.12		8.00	6.48	6.48	6.48	0.20	1.45	5.16	0.00	4.76	5.80	13.69	18.59	0.66	12.11

数量総括

NO		区分	As	粒調	砕石	ﾌｨﾙﾀｰ(砂)
1	主-1	N6	0.15	0.30	0.40	0.00
2	主-1	N5	0.10	0.25	0.30	0.00
3	主-2	N6	0.15	0.30	0.40	0.00
4	主-2	N5	0.10	0.25	0.30	0.00
5	主-2	N4	0.05	0.25	0.25	0.00
6	主-2	N3	0.10	0.15	0.15	0.00
7	主-2	N2	0.05	0.10	0.15	0.00
8	一般	車道一般	0.05	0.15	0.20	0.00
9	市歩道	歩道一般	0.04	0.00	0.10	0.05
10	市歩道	車両出入口A	0.05	0.10	0.15	0.00

		仮復旧時 AS(t)	仮復旧時 下路盤(t)	仮復旧時 上路盤(t)	本復旧時 AS(t)	本復旧時 下路盤(t)	本復旧時 上路盤(t)	仮復旧 ㎥	本復旧 ㎥
主-2	N6	5	40	40	15	40	30	0.00	0.00
主-2	N5	5	25	35	15	25	25	0.00	0.00
主-2	N4	5	25	25	10	25	20	0.00	0.00
主-2	N3	5	15	20	10	15	15	0.00	0.00
主-2	N2	5	15	10	5	15	10	0.00	0.00
一般	車道一般	5	15	10	5	15	10	0.00	0.00
市歩道	歩道一般	4	0	10	4	0	10	0.00	0.00
市歩道	車両出入口A	5	15	10	5	15	10	0.00	0.00

・取付管布設替工

取付管布設工 （3m未満）	（布設替）	2 箇所
取付管布設工 （3m以上5m未満）	（布設替）	0 箇所
取付管布設工 （5m以上12m未満）	（布設替）	0 箇所
既設取付管処分工		0.1 ㎥
陶管・ﾋｭｰﾑ管用閉塞キャップ		1 箇所

・取付管土工

床掘り	5 ㎥
土砂等運搬	4 ㎥
機械投入埋戻工	4 ㎥
残土処分工	1 ㎥

・附帯工

舗装版切断工		14 m
舗装版切断排水処分工		
13.8m × 0.0017m3/m =		0.02 ㎥
舗装版破砕積込 t<=15		18 ㎥
As廃材運搬処分工	運搬	0.86 ㎥
	処分	2 t
路盤掘削		1 ㎥
路盤材運搬処分工		1 ㎥
路盤工（車道一般）		4 ㎥
路盤工（歩道ｲﾝﾀｰﾛｯｷﾝｸﾞ）		2 ㎥
舗装工（車道一般　仮復旧）		4 ㎥
舗装工（歩道ｲﾝﾀｰﾛｯｷﾝｸﾞ　仮復旧）		2 ㎥
不陸整正（車道一般）		7 ㎥
不陸整正（歩道ｲﾝﾀｰﾛｯｷﾝｸﾞ）		5 ㎥
舗装工（車道一般　本復旧）		11 ㎥
ｲﾝﾀｰﾛｯｷﾝｸﾞ撤去・再設置		7 ㎥
路面標示　常用		1 式

Matsudo - Sewage Works Infomation System

案内図

令和８年度	
事業名称	汚水管きょ更生工事（R8-3）
事業場所	松戸市松戸他
図面番号	全５葉の内第１号
松戸市　建設部　下水道維持課	

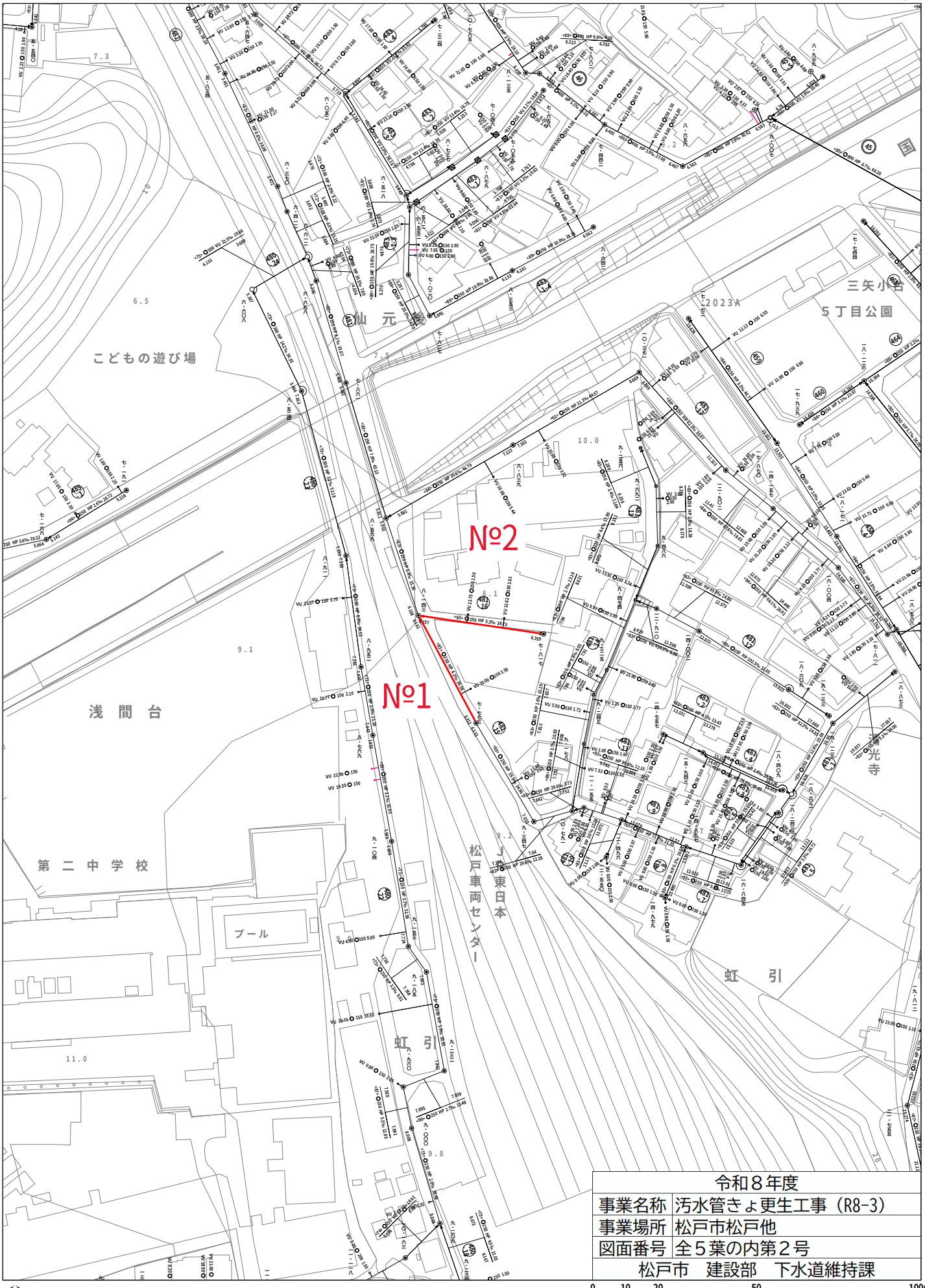
松戸市役所

0 100 200 500 1000m

1/30000

Matsudo - Sewage Works Infomation System

詳細図



令和８年度	
事業名称	汚水管きょ更生工事（R8-3）
事業場所	松戸市松戸他
図面番号	全５葉の内第２号
松戸市　建設部　下水道維持課	

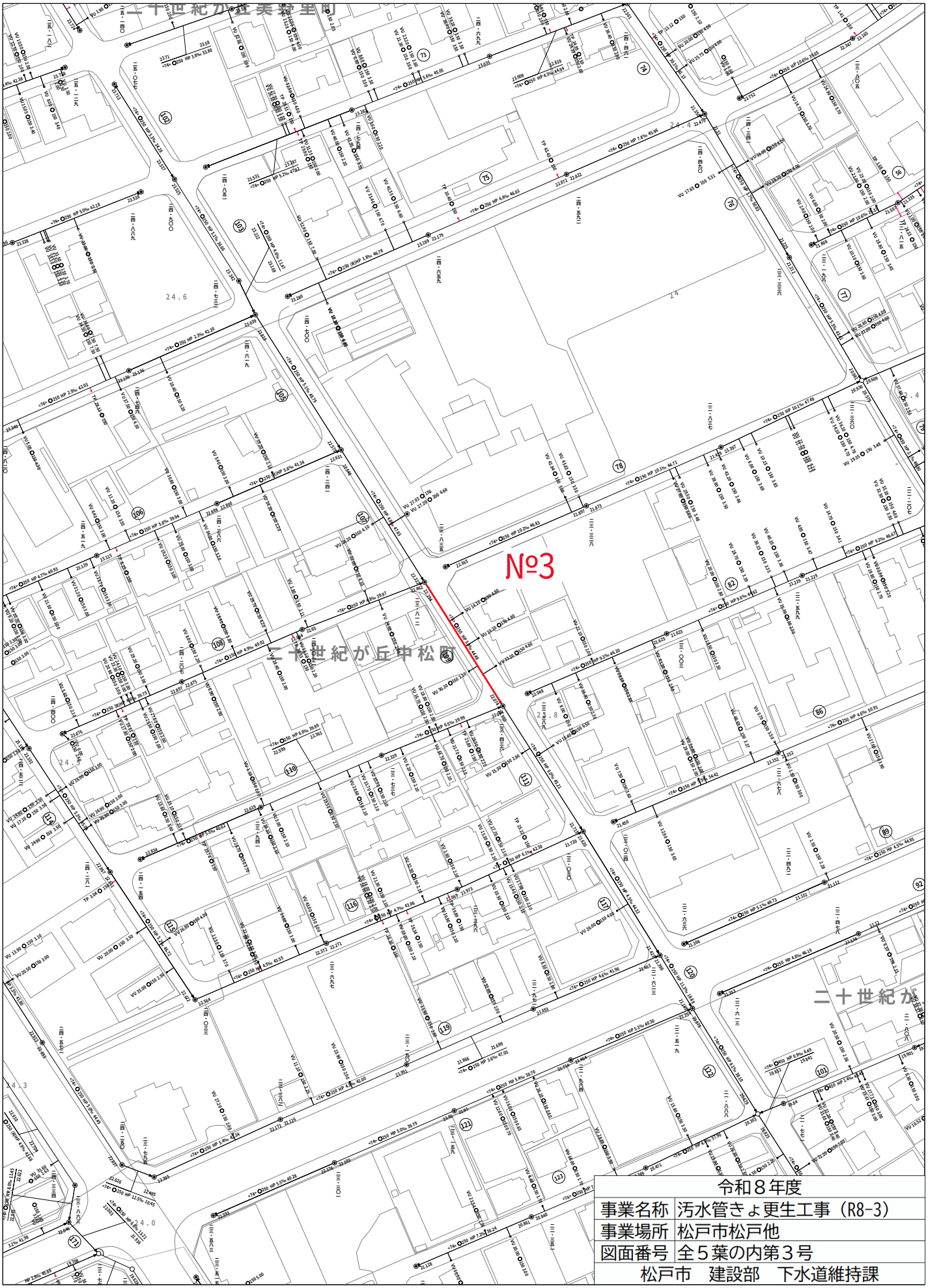
0 10 20 50 100m

1/1500

松戸市役所

詳細図

Matsudo - Sewage Works Infomation System



令和８年度	
事業名称	汚水管きょ更生工事（R8-3）
事業場所	松戸市松戸他
図面番号	全５葉の内第３号
松戸市　建設部　下水道維持課	

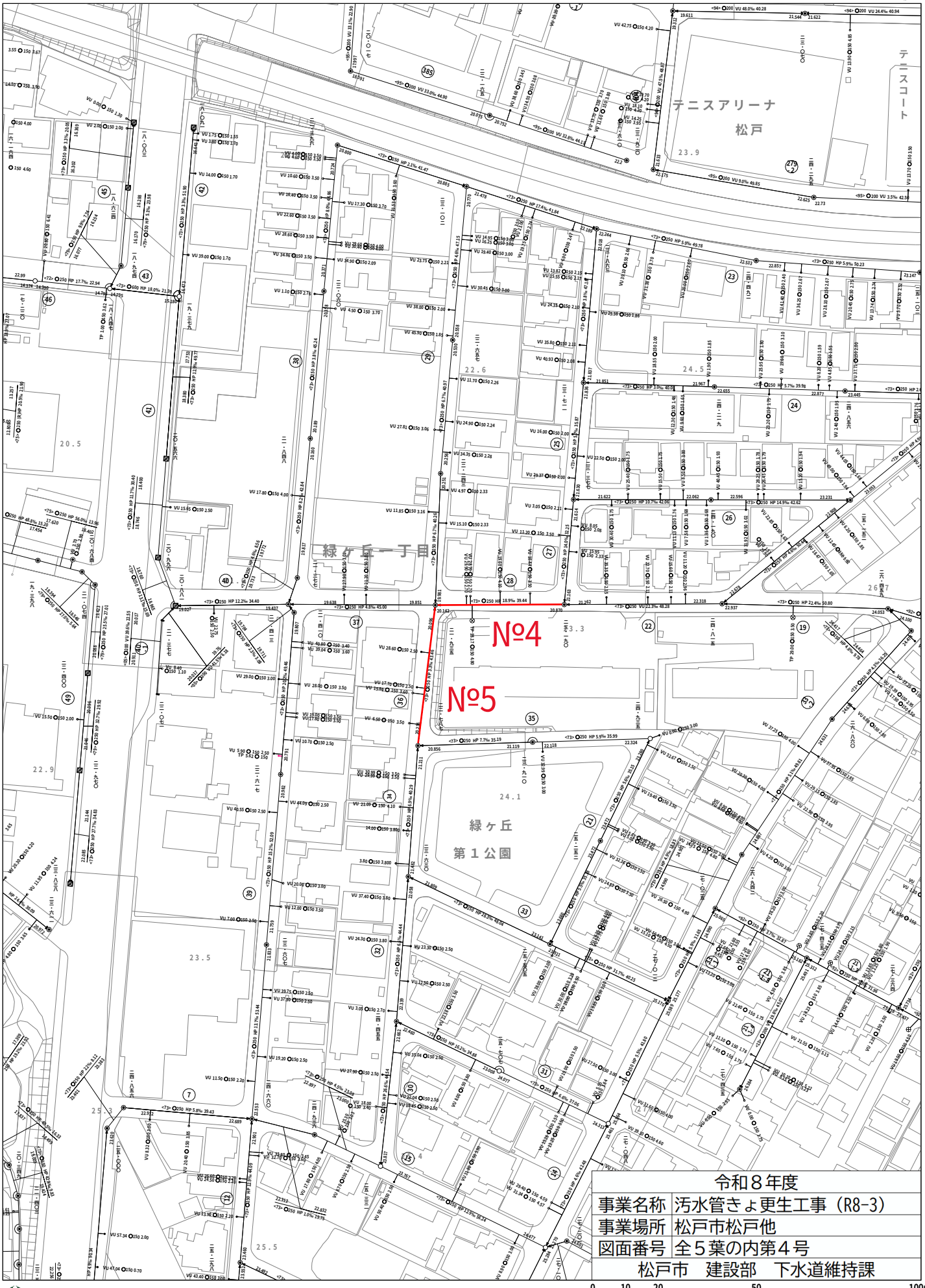
0 10 20 50 100m

1/1500

松戸市役所

詳細図

Matsudo - Sewage Works Infomation System



令和８年度	
事業名称	汚水管きょ更生工事（R8-3）
事業場所	松戸市松戸他
図面番号	全５葉の内第４号
松戸市　建設部　下水道維持課	

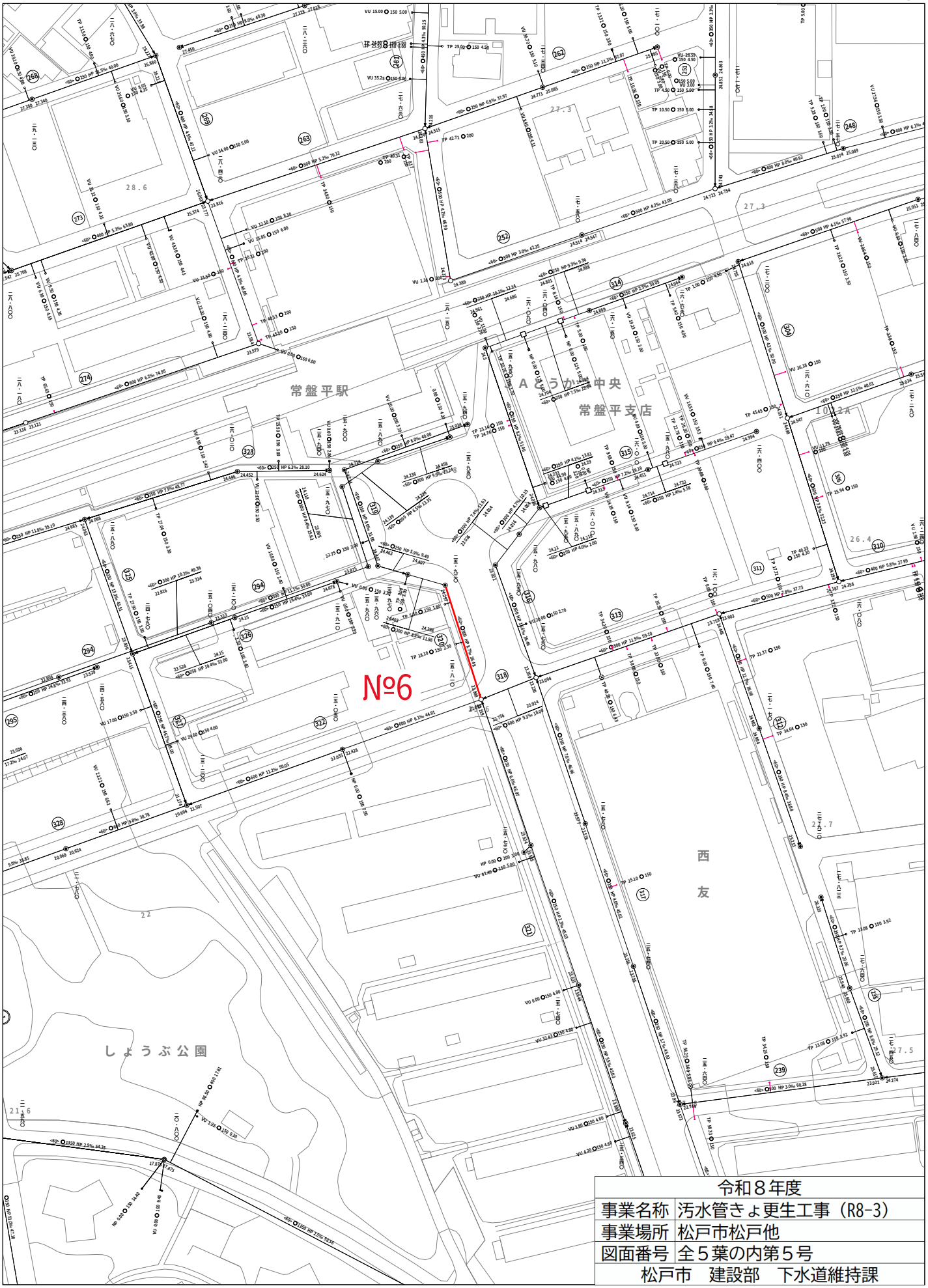
0 10 20 50 100m

1/1500

松戸市役所

Matsudo - Sewage Works Infomation System

詳細図



令和８年度	
事業名称	汚水管きょ更生工事（R8-3）
事業場所	松戸市松戸他
図面番号	全５葉の内第５号
松戸市　建設部　下水道維持課	

0 10 20 50 100m

1/1500

松戸市役所

No.1

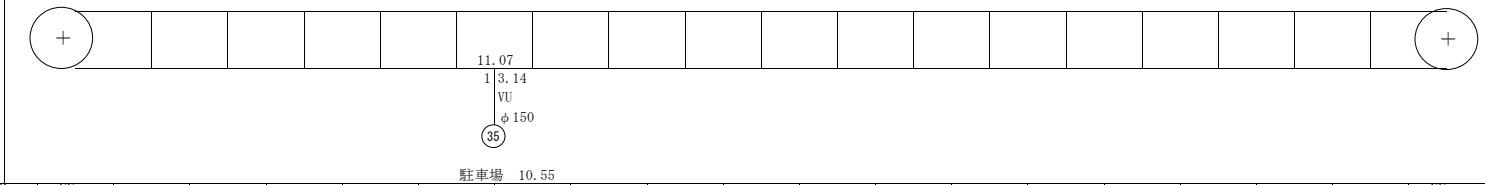
本 管 用 調 査 記 録 表

No. 86

上流人孔番号 No. 481-15-3					路線番号	管種	管径	台帳距離	管路延長	地上距離	下流人孔番号 No. 481-1				
図面番号	人孔蓋種別	人孔形状	人孔深	管頂深							図面番号	人孔蓋種別	人孔形状	人孔深	管頂深
29-1	旧鉄蓋60用	内径900	1.51m	1.26m	481-15	HP	φ250mm	36.56m	36.46m	36.71m	29-1	旧鉄蓋60用	内径900	2.00m	1.75m

人孔内点検

(腐食を含む欠損/全体)
足掛金物本数 0/3
1984 年



人孔内点検

(腐食を含む欠損/全体)
足掛金物本数 0/5
1984 年

蓋裏腐食C

継目部

継目数	管口	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	管口			
写真番号																						
(内容)	管口 浸入水c 石灰付着c 0.45					ズレ隙間c (13mm) 10.13	ズレ隙間c (7mm) 12.14	ズレ隙間c (12mm) 14.15	ズレ隙間c (10mm) 16.17		ズレ隙間c (10mm) 20.19	ズレ隙間c (10mm) 22.20					ズレ隙間c (20mm) 32.30	ズレ隙間c (15mm) 34.30	36.01			

管本数
【 18 本】

ソケット数
【 1 箇所】

本管部

管本数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18			
写真番号	35				36													37			
(内容)	腐食C 0.45～	腐食C	腐食C	腐食C	タルミC 8.35～ 腐食C	タルミC 腐食C	タルミB 腐食C	タルミB 腐食C	タルミB 腐食C	タルミB 腐食C	タルミB 腐食C	タルミB 腐食C	タルミC 腐食C	タルミC 腐食C	タルミC 腐食B	タルミC 腐食B	タルミC 腐食B	タルミC 腐食B	クラックb (3mm) 浸入水b 石灰付着c 35.87～ 35.98 タルミC ～36.01 腐食B ～36.01			

ＶＴＲ番号
【 巻】

カウンター番号
【 】

ダイジェスト
ＶＴＲ番号
【 巻】

カウンター番号
【 】

ソケット部

写真番号																					
(内容)						右取付管 ボンド出張りc 11.07															

考察

項目 / 異状箇所	管の腐食			上下方向のたるみ			管の破損			管のクラック			管の継手ズレ			浸入水			取付管突出し			油脂付着			樹木根侵入			モルタル付着			その他			計			備考
	A	B	C	A	B	C	a	b	c	a	b	c	a	b	c	a	b	c	a	b	c	a	b	c	a	b	c	a	b	c	a	b	c	A・a	B・b	C・c	
継目部															8			1																	9	ボンド出張りはその他に集計
本管部		5	13		5	9					1																						11	22	
ソケット部																															1			1	
計		5	13		5	9					1				8			1													1		11	32	

No.2

本 管 用 調 査 記 録 表

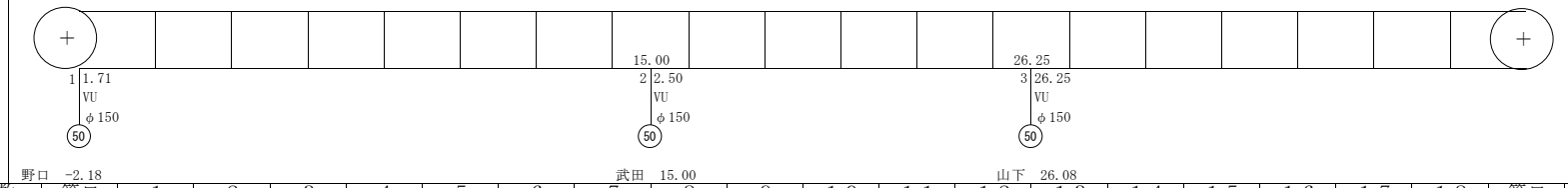
No. 87

上流人孔番号 No.	481-16-1				下流人孔番号 No.	481-1			
図面番号	人孔蓋種別	人孔形状	人孔深	管頂深	路線番号	管種	管径	台帳距離	管路延長	地上距離	図面番号	人孔蓋種別	人孔形状	人孔深	管頂深
29-1	旧鉄蓋60用	内径900	1.52m	1.27m	481-16	HP	φ250mm	38.73m	38.97m	38.80m	29-1	旧鉄蓋60用	内径900	2.00m	1.75m

人孔内点検

(腐食を含む欠損/全体)
足掛金物本数 0/3
1984 年

蓋裏腐食C
斜壁目地
浸入水C



人孔内点検

(腐食を含む欠損/全体)
足掛金物本数 0/5
1984 年

蓋裏腐食C

継目部	継目数	管口	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	管口		
	写真番号								41														
	(内 容)			ズレ隙間c (5mm) 4.50		ズレ隙間c (8mm) 8.53			浸入水a 石灰付着c 14.54														

本管部	管本数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19		
	写真番号	38,39			40															42		
	(内 容)	クラックb (2mm) 浸入水c 石灰付着c 0.45 腐食C 0.45～	腐食C	腐食C	タルミC 7.35～ 腐食C	タルミC 腐食C	タルミC 腐食C	タルミC 腐食C	タルミC 腐食C	タルミB 腐食C	タルミB 腐食B	タルミB 腐食B	タルミB 腐食B	タルミB 腐食B	タルミB 腐食B	タルミB 腐食B	タルミB 腐食B	タルミC 腐食B	タルミC 腐食C	クラックb (4mm) 浸入水b 石灰付着c 38.21 タルミC ～38.52 腐食C ～38.52		

ソケット部	写真番号																					
	(内 容)								右取付管 15.00					右取付管 補修済み 26.25								

管本数
【 19 本】

ソケット数
【 3 箇所】

VTR番号
【 巻】

カウンター番号
【 87 】

ダイジェスト VTR番号
【 A 巻】

カウンター番号
【 9 】

考察

異状箇所＼項目	管の腐食			上下方向のたるみ			管の破損			管のクラック			管の継手ズレ			浸入水			取付管突出し			油脂付着			樹木根侵入			モルタル付着			その他			計			備考
	A	B	C	A	B	C	a	b	c	a	b	c	a	b	c	a	b	c	a	b	c	a	b	c	a	b	c	a	b	c	a	b	c	A・a	B・b	C・c	
継目部															2	1																		1		2	
本管部		8	11		8	8					2																						18	19	
ソケット部																																			
計		8	11		8	8					2				2	1																1	18	21	

No.3

No. 9-1

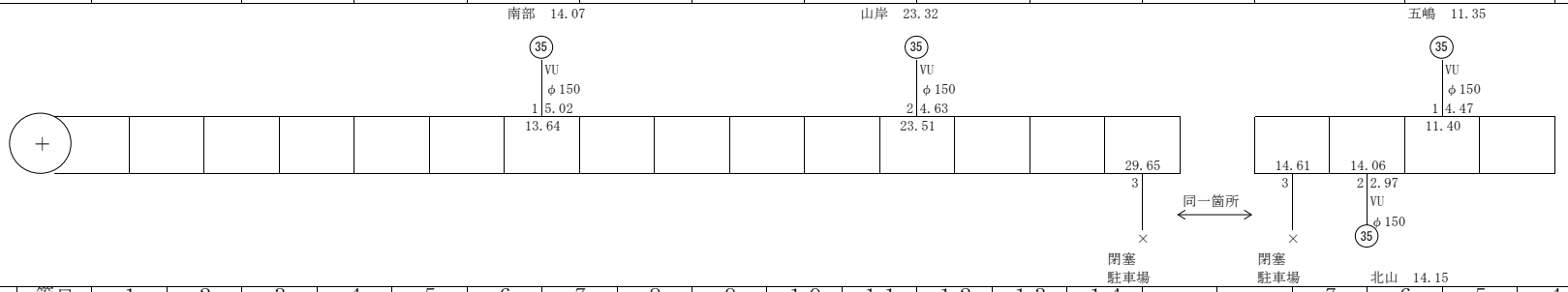
本 管 用 調 査 記 録 表

上流人孔番号 No. 109-1											下流人孔番号 No. 111-1				
図面番号	人孔蓋種別	人孔形状	人孔深	管頂深	路線番号	管種	管径	台帳距離	管路延長	地上距離	図面番号	人孔蓋種別	人孔形状	人孔深	管頂深
29-4	矢切蓋60用	内径900	1.54m	1.29m	109	HP	φ250mm	44.48m	44.26m	44.64m	29-4	矢切蓋60用	内径900	1.48m	1.13m

人孔内点検

(腐食を含む欠損/全体)
足掛金物本数 4/4
2008 年

足掛金物腐食C
(1～4段目)



人孔内点検

(腐食を含む欠損/全体)
足掛金物本数 3/3
2008 年

足掛金物腐食C
(1～3段目)

継目部

継目数	管口	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14			7	6	5	4
写真番号																					
(内 容)																					

本管部

管本数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15		8	7	6	5
写真番号	27						28		29											
(内 容)	クラックB (3㎜) 0.70 腐食C 0.45～	腐食C	腐食C	腐食C	腐食C	腐食C	腐食A 鉄筋露出 12.14～12.22 腐食C	腐食C	腐食A 鉄筋露出 16.06～16.12 腐食C	腐食C	腐食C	腐食C	腐食C	腐食C	腐食C ～29.65		腐食C 14.61～	腐食C	腐食C	腐食C

ソケット部

写真番号															30		30			
(内 容)							左取付管 13.64					左取付管 ボンド突出しC 23.51			右取付管 閉塞不良A 異物突出しA (土嚢) 29.65 カメラ進行不能	同一箇所	左取付管 同一箇所 14.61	左取付管 ボンド突出しC 14.06	右取付管 11.40	

開削工法にて除去

管本数
【 22 本】

ソケット数
【 5 箇所】

VTR番号
【 2 巻】

カウンター番号
【 1,2 】

ダイジェスト VTR番号
【 1 巻】

カウンター番号
【 18～21 】

考察

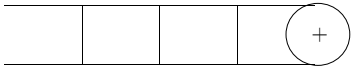
項目 / 異状箇所	浸入水 a	浸入水 b	浸入水 c	破損 A	破損 B	破損 C	クラック A	クラック B	クラック C	弛み・蛇行 A	弛み・蛇行 B	弛み・蛇行 C	隙間・ずれ A	隙間・ずれ B	隙間・ずれ C	取付管突出 A	取付管突出 B	取付管突出 C	接合不良 A	接合不良 B	接合不良 C	木の根侵入 A	木の根侵入 B	木の根侵入 C	ﾊﾟｯｷﾝ外れ A	ﾊﾟｯｷﾝ外れ B	ﾊﾟｯｷﾝ外れ C	ラード付着 A	ラード付着 B	ラード付着 C	ﾓﾙﾀﾙ付着 A	ﾓﾙﾀﾙ付着 B	ﾓﾙﾀﾙ付着 C	その他 A	その他 B	その他 C	計 A	計 B	計 C	備考
継目部																																							異物突出しの為
本管部							1	1																									2		20	3	1	20	上下流より調査
ソケット部																																	1		2	1		2	腐食、ボンド突出し、閉塞不良は
計							1	1																									3		22	4	1	22	その他に集計

No.3

本 管 用 調 査 記 録 表

No. 9-2

上流人孔番号 No. 109-1											下流人孔番号 No. 111-1				
図面番号	人孔蓋種別	人孔形状	人孔深	管頂深	路線番号	管 種	管 径	台帳距離	管路延長	地上距離	図面番号	人孔蓋種別	人孔形状	人孔深	管頂深
29-4	矢切蓋60用	内径900	1.54m	1.29m	109	HP	φ250mm	44.48m	44.26m	44.64m	29-4	矢切蓋60用	内径900	1.48m	1.13m

人孔内点検		人孔内点検
(腐食を含む欠損/全体) 足掛金物本数 4/4 2008 年 足掛金物腐食C (1～4段目)		(腐食を含む欠損/全体) 足掛金物本数 3/3 2008 年 足掛金物腐食C (1～3段目)

継目部	継目数		3	2	1	管口																			
	写真番号																								
	(内 容)																								
本管部	管本数	4	3	2	1																				
	写真番号				31																				
	(内 容)				クラックA (5mm) 0.65																				
		腐食C	腐食C	腐食C	腐食C ～0.45																				
ソケット部	写真番号																								
	(内 容)																								
考察																									

管本数 【 22 本】

ソケット数 【 5 箇所】

VTR番号 【 2 巻】

カウンター番号 【 1,2 】

ダイジェストVTR番号 【 1 巻】

カウンター番号 【 18～21 】

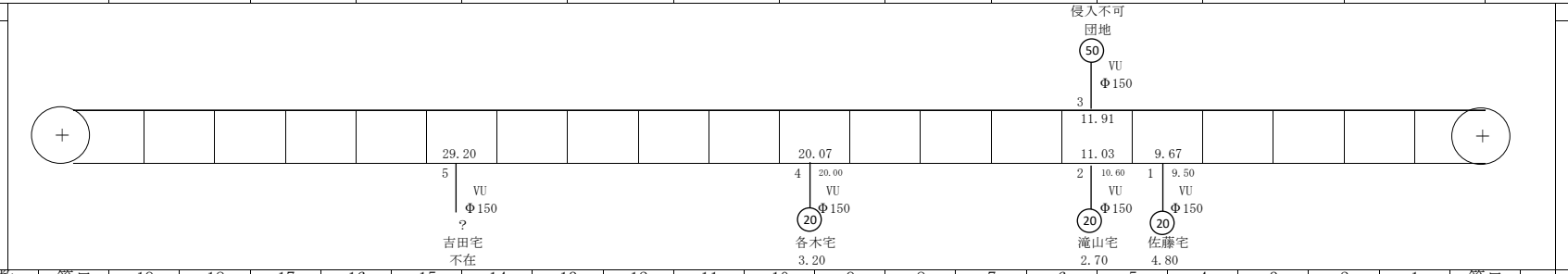
項目 / 異状箇所	浸入水			破損			クラック			弛み・蛇行			隙間・ずれ			取付管突出			接合不良			木の根侵入			パッキン外れ			ラード付着			モルタル付着			その他			計			備考
	a	b	c	A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C	
継目部																																								異物突出しの為
本管部							1	1																									2		20	3	1	20				上下流より調査
ソケット部																																	1		2	1		2				腐食、ボンド突出し、閉塞不良は
計							1	1																									3		22	4	1	22				その他に集計

No.4

No. 82

本 管 用 調 査 記 録 表

上流人孔番号 No.	28_1										下流人孔番号 No.	37-1			
図面番号	人孔蓋種別	人孔形状	人孔深	管頂深	路線番号	管種	管径	台帳距離	管路延長	地上距離	図面番号	人孔蓋種別	人孔形状	人孔深	管頂深
18-24	矢切蓋60用	内径900	2.37m	2.12m	28_1	HP	φ250mm	39.44m	39.44m	39.50m	18-24	矢切蓋60用	内径900	2.06m	1.57m



		管口	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	管口
継目部	継目数																					
	写真番号																					
	(内容)	39.18m						浸入水c 石灰付着c 28.45m				浸入水c 石灰付着c 20.45m			浸入水c 石灰付着c 14.43m		浸入水c 石灰付着c 10.41m	浸入水c 石灰付着c 8.41m		浸入水c 石灰付着c 4.35m	ズレc 2.35m	

		20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
本管部	管本数																				45
	写真番号																				
	(内容)	腐食B ～39.18m	腐食B	腐食B	腐食B	腐食B	腐食B	腐食B	腐食B	腐食B	腐食B	腐食B	腐食B	腐食B	腐食B	腐食B	腐食B	腐食B	腐食B	腐食B	腐食B	腐食B 0.45m～
ソケット部	写真番号																					
	(内容)						左取 鉄筋露出c 接合不良c 29.20m					左取 20.07m				左取 浸入水c 石灰付着c 11.03m 右取 浸入水c 石灰付着c 11.91m	左取 9.67m					

管本数
【 20 本】

ソケット数
【 5 箇所】

ＶＴＲ番号
【 1 巻】

カウンター番号
【 82 】

ダイジェスト
ＶＴＲ番号
【 巻】

カウンター番号
【 】

考察

下流より調査

異状箇所＼項目	管の腐食			上下方向のたるみ			管の破損			管のクラック			管の継手ズレ			浸入水			取付管突出し			油脂付着			樹木根侵入			モルタル付着			その他			計			備考
	A	B	C	A	B	C	a	b	c	a	b	c	a	b	c	a	b	c	a	b	c	a	b	c	a	b	c	a	b	c	a	b	c	A・a	B・b	C・c	
継目部															1			6																		7	
本管部		20																																	20		
ソケット部																		2															1			3	
計		20													1			8															1	20	10	

No.5

本 管 用 調 査 記 録 表

No. 102

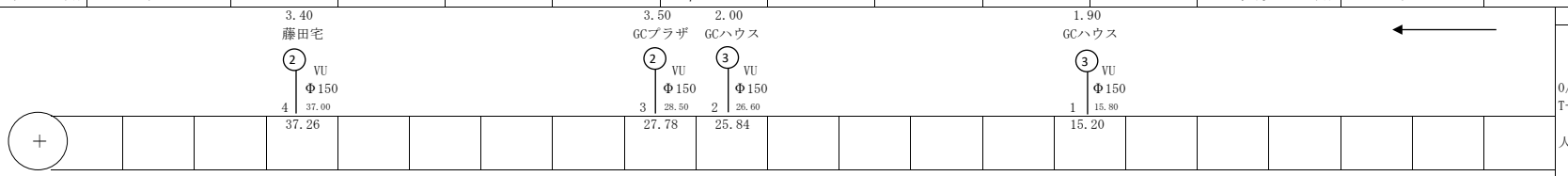
上流人孔番号 No. 36-1											下流人孔番号 No. 37-1				
図面番号	人孔蓋種別	人孔形状	人孔深	管頂深	路線番号	管種	管径	台帳距離	管路延長	地上距離	図面番号	人孔蓋種別	人孔形状	人孔深	管頂深
24-4	旧鉄蓋60用	内径900	2.65m	2.40m	36	HP	φ250mm	43.46m	43.46m	43.50m	18-24	矢切蓋60用	内径900	2.06m	1.63m

人孔内点検

蓋製造年 1973
(腐食を含む欠損/全体) 0/6
T-不明

鎖切れ
蓋裏腐食C
人孔内腐食A写真No.17

転落防止柵無



人孔内点検

蓋製造年 2016
(腐食を含む欠損/全体) 0/5
T-14

人孔内腐食B写真No.18

転落防止柵有

継目部	継目数	管口	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2
	写真番号										59			58		57				56		55
	(内容)	43.20m	木根侵入 c 42.95m				浸入水 c 石灰付着 c 34.89m				パッキン外れ b 浸入水 c 石灰付着 c 26.83m			隙間 b (40㎜) 20.80m	パッキン外れ c 18.78m	隙間 b (40㎜) 16.76m				隙間 b (30㎜) 浸入水 c 石灰付着 c 8.71m	浸入水 c 石灰付着 c 6.69m	隙間 b (50㎜) 4.66m

本管部	管本数	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2
	写真番号																					
	(内容)	腐食B ～43.20m	腐食B たるみC ～41.86m	腐食B たるみC	腐食B たるみC	腐食B たるみC	腐食B たるみC	腐食B たるみC	腐食B たるみC	腐食B たるみC	腐食B たるみC	腐食B たるみC	腐食B たるみC	腐食B たるみC	腐食B たるみC	腐食B たるみC	腐食B たるみC	腐食B たるみC	腐食B たるみC 10.61m～	腐食B	腐食B	腐食B	腐食B

ソケット部	写真番号																					
	(内容)				右取 37.26m					右取 27.78m	右取 25.84m					右取 15.20m						

管本数 【 22 本】

ソケット数 【 4 箇所】

VTR番号 【 1 巻】

カウンター番号 【 102 】

ダイジェスト VTR番号 【 巻】

カウンター番号 【 】

考察

下流より調査

項目 / 異状箇所	管の腐食 A	B	C	上下方向のたるみ A	B	C	管の破損 a	b	c	管のクラック a	b	c	管の継手ズレ a	b	c	浸入水 a	b	c	取付管突出し a	b	c	油脂付着 a	b	c	樹木根侵入 a	b	c	モルタル付着 a	b	c	その他 a	b	c	計 A・a	B・b	C・c	備考
継目部														4				2									1						1	1		5	4	
本管部		22				16																													22	16	
ソケット部																																					
計		22				16								4				2									1						1	1		27	20	

No.5

本 管 用 調 査 記 録 表

No. 102

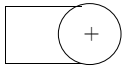
上流人孔番号 No. 36-1										下流人孔番号 No. 37-1				
図面番号	人孔蓋種別	人孔形状	人孔深	管頂深	路線番号	管種	管径	台帳距離	管路延長	地上距離	図面番号	人孔蓋種別	人孔形状	人孔深	管頂深
24-4	旧鉄蓋60用	内径900	2.65m	2.40m	36	HP	φ250mm	43.46m	43.46m	43.50m	18-24	矢切蓋60用	内径900	2.06m	1.63m

人孔内点検

蓋製造年
1973
(腐食を含む欠損/全体)
0/6
T-不明

鎖切れ
蓋裏腐食C
人孔内腐食A写真No.17

転落防止柵無



人孔内点検

蓋製造年
2016
(腐食を含む欠損/全体)
0/5
T-14

人孔内腐食B写真No.18

転落防止柵有

継目部	継目数	1	管口																							
	写真番号																									
	(内 容)																									
本管部	管本数	1																								
	写真番号	54																								
	(内 容)	腐食B 0.45m～																								
ソケット部	写真番号																									
	(内 容)																									

管本数
【 22 本】

ソケット数
【 4 箇所】

VTR番号
【 1 巻】

カウンター番号
【 102 】

ダイジェスト
VTR番号
【 巻】

カウンター番号
【 】

考察

下流より調査

項目 / 異状箇所	管の腐食			上下方向のたるみ			管の破損			管のクラック			管の継手ズレ			浸入水			取付管突出し			油脂付着			樹木根侵入			モルタル付着			その他			計			備考
	A	B	C	A	B	C	a	b	c	a	b	c	a	b	c	a	b	c	a	b	c	a	b	c	a	b	c	a	b	c	a	b	c	A・a	B・b	C・c	
継目部														4				2								1						1	1		5	4	
本管部		22				16																													22	16	
ソケット部																																					
計		22				16								4				2								1						1	1		27	20	

No.6

本 管 用 調 査 記 録 表

No.019-1

上流人孔番号 No. 320-2											下流人孔番号 No. 322-1				
図面番号	人孔蓋種別	人孔形状	人孔深	管頂深	路線番号	管種	管径	台帳距離	管路延長	地上距離	図面番号	人孔蓋種別	人孔形状	人孔深	管頂深
14-23	コアラ蓋60用	内径900	1.74m	1.44m	320	HP	φ300mm	36.48m	36.45m	36.70m	14-23	コアラ蓋60用	内径1200	3.13m	2.42m

人孔内点検

(腐食を含む欠損/全体)
足掛金物本数 0/3

人孔内点検

(腐食を含む欠損/全体)
足掛金物本数 0/8

継目部

継目数	管口	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
写真番号																					
(内容)		隙間C (15㎜) 木根侵入C 1.50	隙間C (15㎜) 木根侵入C 1.86	木根侵入C 2.86	木根侵入C 3.86	木根侵入C 4.84	木根侵入C 5.84	木根侵入C 6.82	木根侵入C 7.82	木根侵入C 8.82	木根侵入C 9.82	木根侵入C 10.82	木根侵入C 11.81	木根侵入C 12.80	隙間C (15㎜) 木根侵入C 13.82	木根侵入C 14.80	木根侵入C 15.81	木根侵入C 16.80	木根侵入C 17.80	隙間C (15㎜) 木根侵入C 18.80	木根侵入C 19.81

本管部

管本数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
写真番号			27																	
(内容)	クラックC (1㎜) 0.65		1.86～					腐食BタルミC												

ソケット部

写真番号								28												
(内容)								右取付 接合不良C 木根侵入B 6.07											右取付 接合不良C 木根侵入C 18.10	

管本数
【 36 本】

ソケット数
【 3 箇所】

ＶＴＲ番号
【 2 巻】

カウンター番号
【 6 】

ダイジェスト
ＶＴＲ番号
【 巻】

カウンター番号
【 】

考察

異状箇所＼項目	浸入水			破損			クラック			弛み・蛇行			隙間・ずれ			取付管突出			接合不良			木の根侵入			ﾊﾟｯｷﾝ外れ			ﾗｰﾄﾞ付着			ﾓﾙﾀﾙ付着			その他			計			備考
	a	b	c	A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C	
継目部															4							17															21	その他Bは、腐食。
本管部									1																									1			1		
ソケット部																					1		1													1	1		
計									1						4						1	17		1											1	2	23		

No.6

本 管 用 調 査 記 録 表

No.019-2

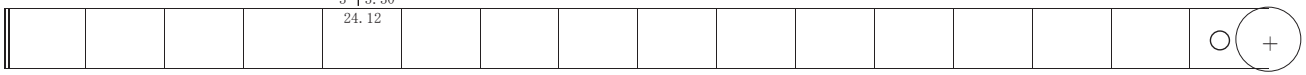
上流人孔番号 No. 320-2									下流人孔番号 No. 322-1				
図面番号	人孔蓋種別	人孔形状	人孔深	管頂深	路線番号	管種	管径	台帳距離	管路延長	地上距離	図面番号	人孔蓋種別	人孔形状	人孔深	管頂深
14-23	コアラ蓋60用	内径900	1.74m	1.44m	320	HP	φ300mm	36.48m	36.45m	36.70m	14-23	コアラ蓋60用	内径1200	3.13m	2.42m

人孔内点検

(腐食を含む欠損/全体)
足掛金物本数 0/3

人孔内点検

(腐食を含む欠損/全体)
足掛金物本数 0/8



継目部

継目数	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	管口
写真番号																	
(内 容)					木根侵入C 23.84												

管本数
【 36 本】

ソケット数
【 3 箇所】

本管部

管本数	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36
写真番号																
(内 容)								腐食BタルミC								副管 35.44 ～35.90

ＶＴＲ番号
【 2 巻】

カウンター番号
【 6 】

ダイジェスト
ＶＴＲ番号
【 巻】

カウンター番号
【 】

ソケット部

写真番号																
(内 容)					左取付 24.12											

考察

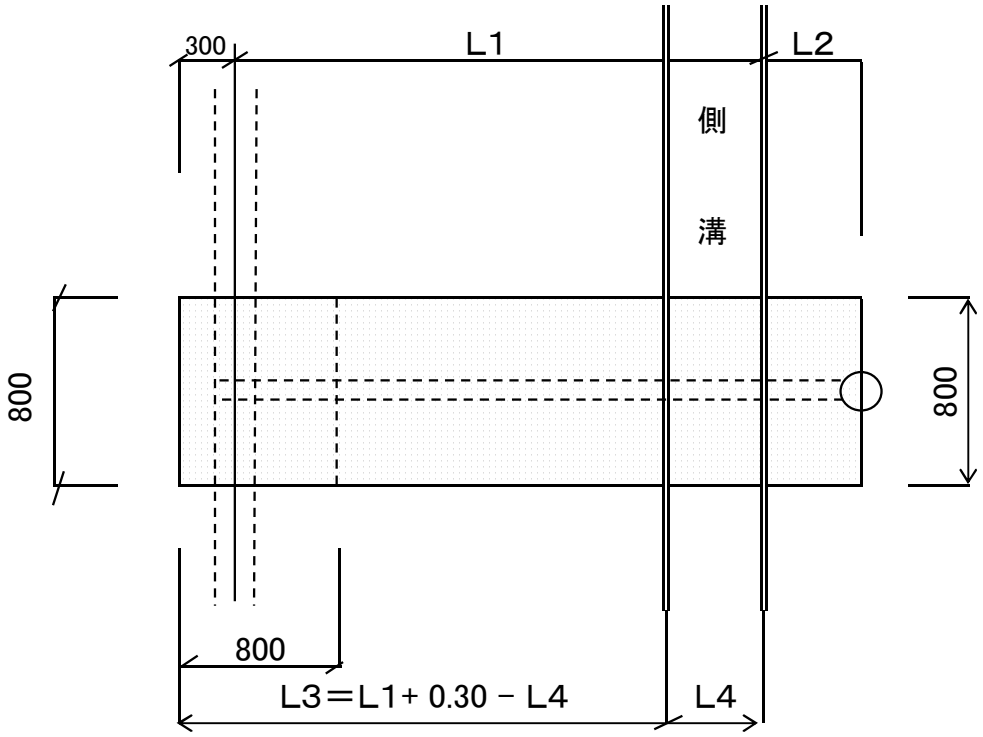
項目 / 異状箇所	浸入水			破損			クラック			弛み・蛇行			隙間・ずれ			取付管突出			接合不良			木の根侵入			ﾊﾟｯｷﾝ外れ			ラード付着			ﾓﾙﾀﾙ付着			その他			計		
	a	b	c	A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C
継目部															4								17															21
本管部									1																							1				1	1
ソケット部																					1		1												1	1	
計									1						4						1		1	17											1	2	23

備考
その他Bは、腐食。

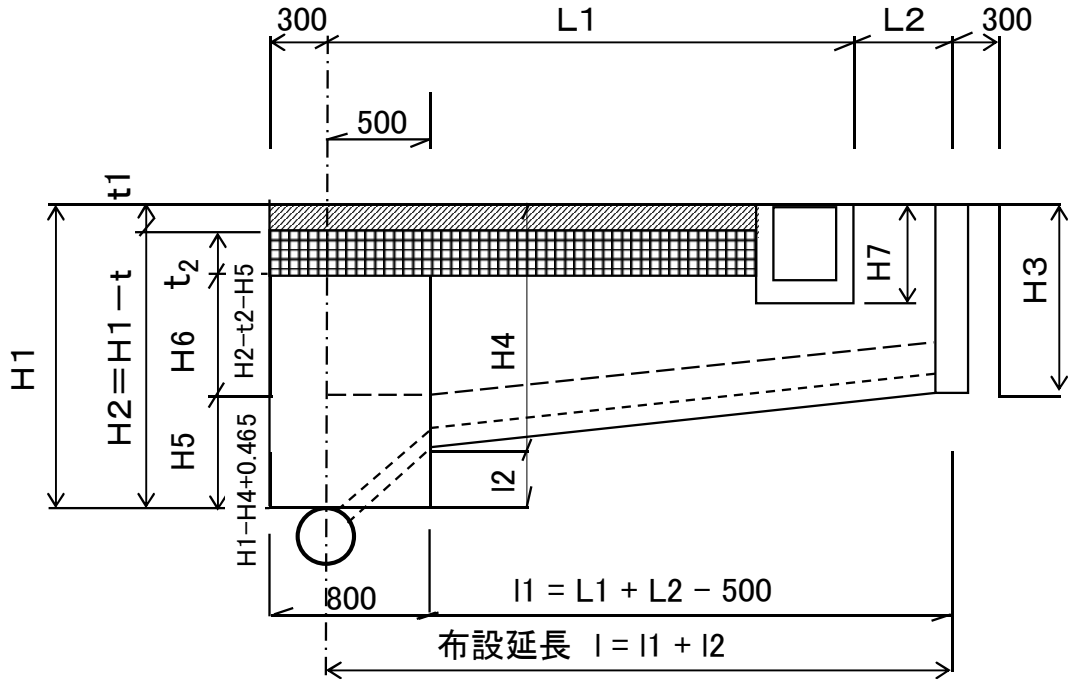
掘削タイプ；A

（参考図）

平 面 図

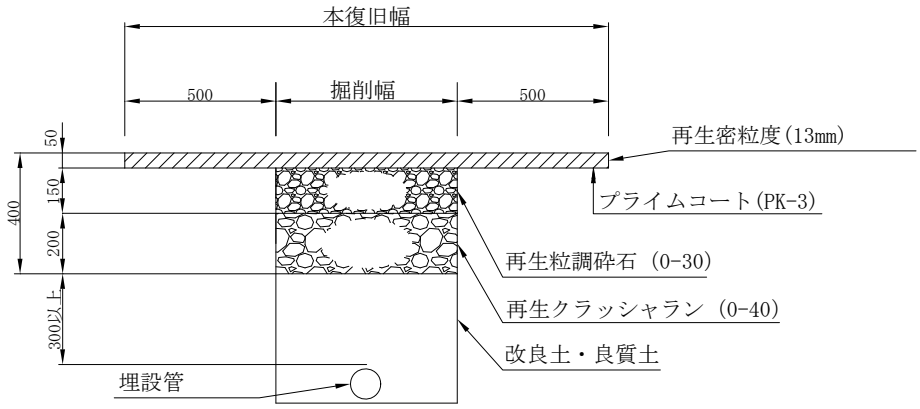


断 面 図

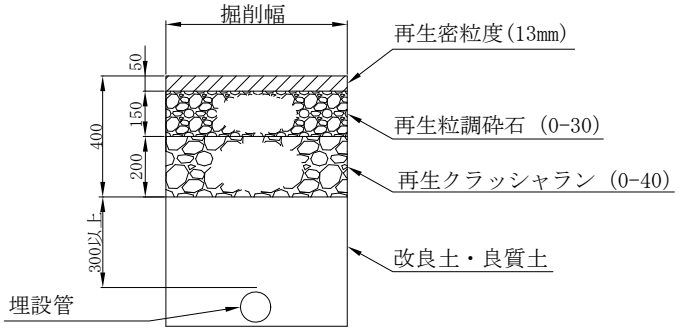


松戸市一般　（交通区分：Ｎ３・旧Ｌ交通）

本　復　旧



仮　復　旧

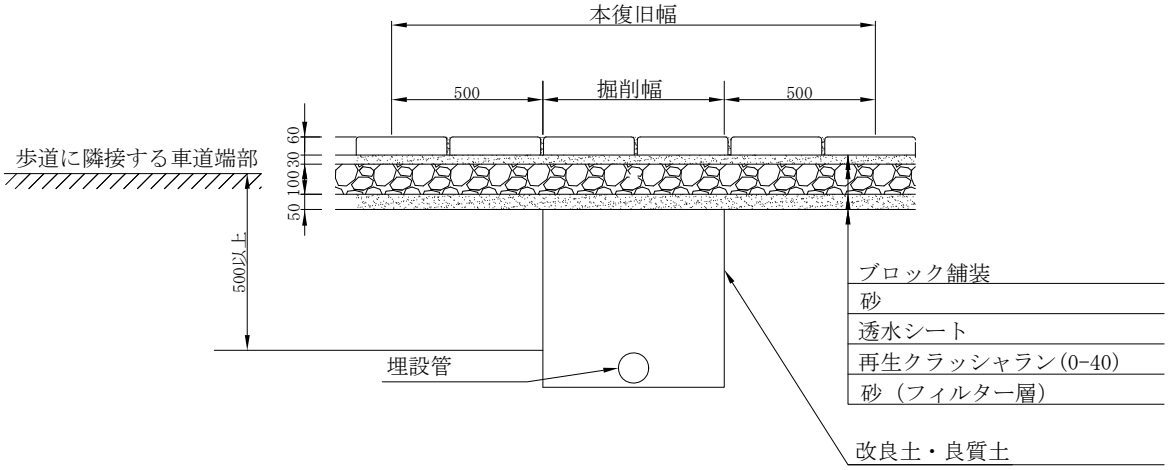


＊　占用物の埋設深さ等は、別途定める基準による。

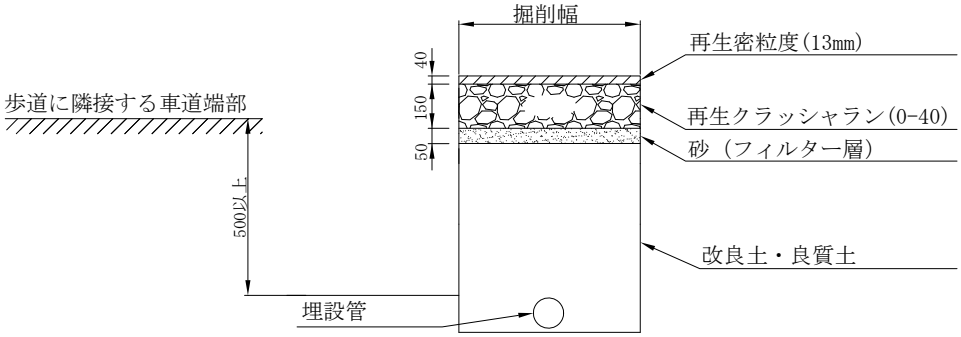
注　既設表層舗装との接合は合材接着テープ等により十分に接合させること。

松戸市普通歩道ブロック舗装（ 一般部 ）

本　復　旧



仮　復　旧



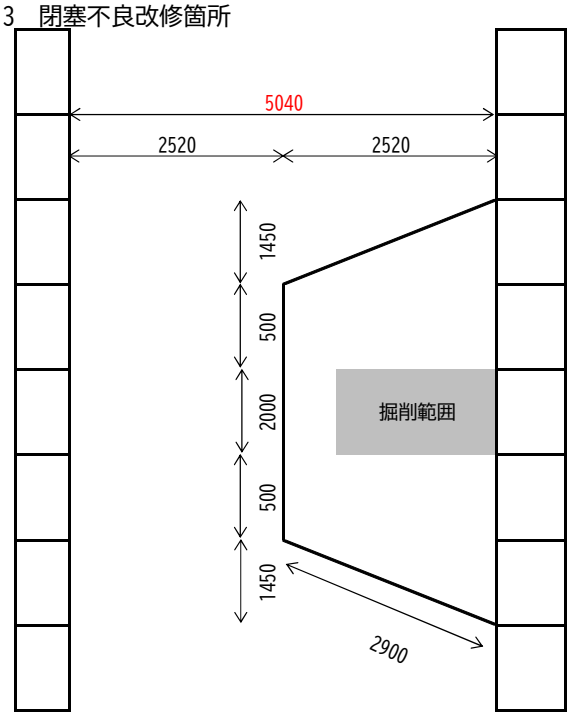
＊　占用物の埋設深さ等は、別途定める基準による。

＊　本復旧は掘削部から0.5mを最小の影響幅とする

注　舗装の絶縁部までの残存幅員が1.2m未満の場合は残留部分も含めて復旧すること。

舗装復旧図（参考）　　※灰色：掘削範囲　　（参考図）

No.3　閉塞不良改修箇所

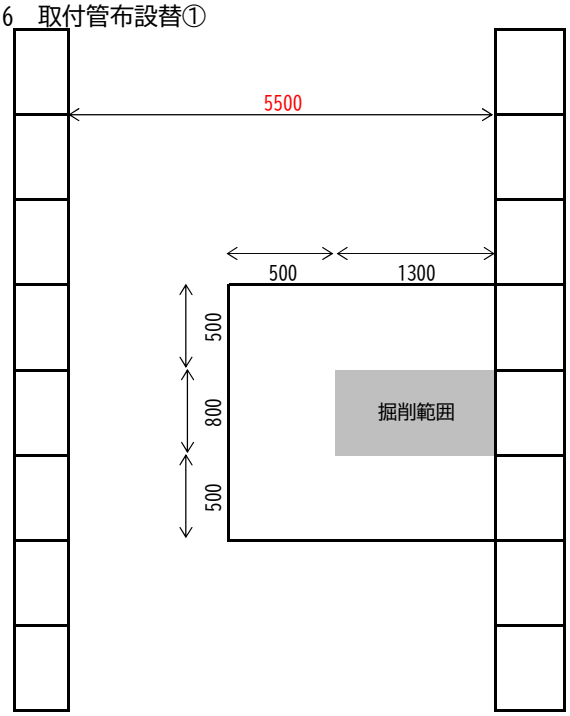


As切断延長＝　2900　×　2　＝　5.80 m

本復旧面積＝　{　（ 3000 + 5900 ）/2　}　×　2520　＝　11.21 m2

※白線あり

No.6　取付管布設替①

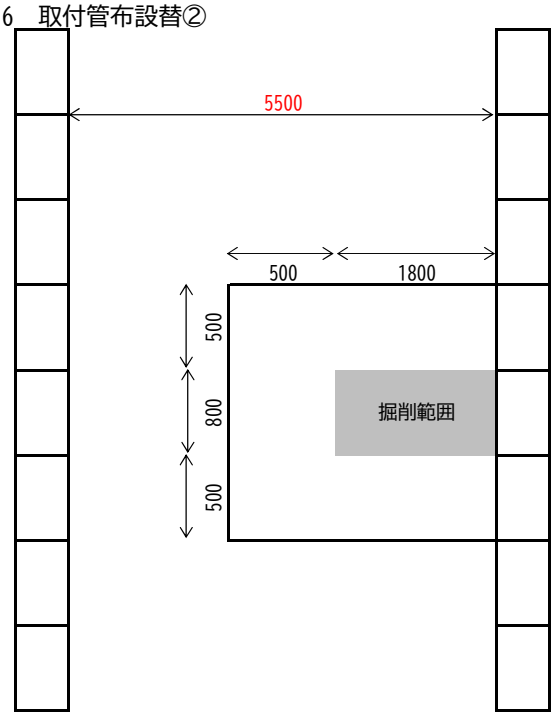


仮復旧面積＝　1300　×　800　＝　1.04 m2

本復旧面積＝　（1300+500）×（800+500+500）　＝　3.24 m2

※インターロッキング舗装

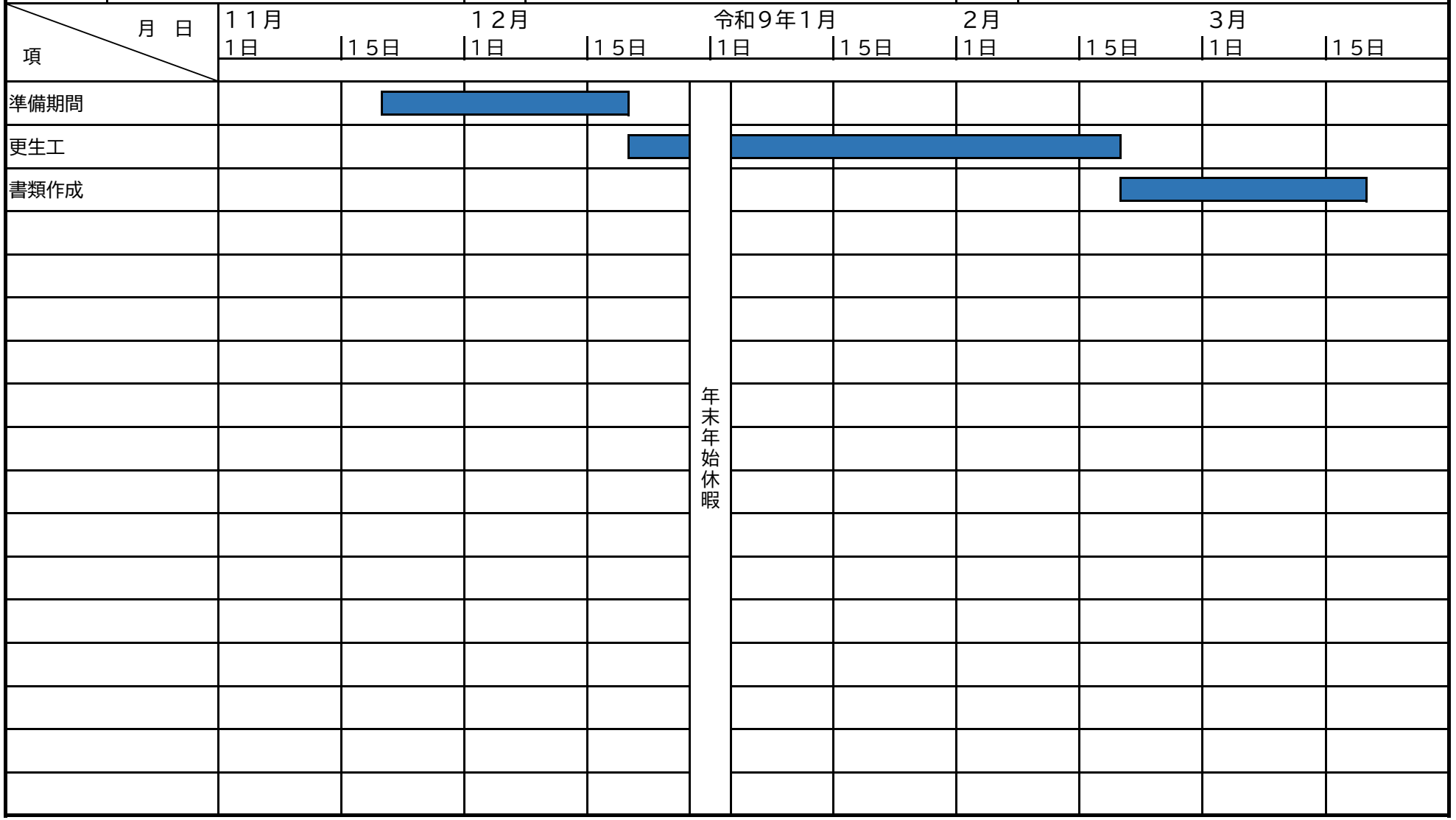
No.6　取付管布設替②



仮復旧面積＝　1800　×　800　＝　1.44 m2

本復旧面積＝　（1800+500）×（800+500+500）　＝　4.14 m2

※インターロッキング舗装

工　　程　　表　　（参考資料）

工事名称	汚水管きょ更生工事（R8-3）	工期	契約締結日の翌日から	施行者	松戸市
工事場所	松戸市松戸他		令和９年３月１９日まで		建設部　下水道維持課